宮　城　県　の　が　ん

1993-1997

2001年9月

宮城県新生物レジストリー

はじめに

一定地域におけるがんの罹患率の測定は、わが国では宮城県がさきがけを果たした。昭和 26 年、東北大学医学部公衆衛生学教室瀬木三雄教授らが、県内のがん罹患調査を行った後、昭和34年、本格的な地域がん登録として、宮城県新生物レジストリー事業が開始された。現在は、宮城県による委託事業として、財団法人宮城県対がん協会において、登録業務が行われている。昭和 47 年以降、長年にわたり高野昭博士らが中心となって実務を進めてきたが、平成 7 年度末に引退した。その後、東北大学医学部公衆衛生学教室が引継ぎ、今日に至っている。

世界各地域のがん罹患統計は、国際対がん連合（UICC）発行の「五大陸のがん」（Cancer in Five Continents）に掲載されてきたが、これには調査精度の高い地域のみが選ばれている。わが国では、宮城県のみが、第 1 巻（1959－60 年）から第 7 巻（1988－92 年）まで継続的に掲載されており、日本を代表する地域がん登録として、国際的にも高く評価されている。

今回、同誌第 8 巻の資料を国際対がん連合に提出したのにあわせて、これに相当する 5 年間（1993－97 年、平成 5－9 年）の宮城県におけるがん罹患状況と、昭和 34 年以降の 39 年間における年次動向を提示する目的で、本報告書を作成した。本県におけるがん対策を一層推進させる上での一助となれば幸いである。

本県のがん罹患状況を、約 40 年間の長期にわたり継続的に調査することは、県内医療機関、県市郡医師会、県保健福祉部、東北大学医学部等の絶大なご理解とご協力があって、はじめて可能であった。なかでも、財団法人宮城県対がん協会からは、登録業務の円滑な遂行のため、多大な人的･経済的支援を賜っている。これらの関係各位に改めて感謝申し上げると同時に、本事業のさらなる発展に向けて、一層のご支援をお願い申し上げる次第である。

平成 13 年 9 月

宮城県新生物レジストリー委員会会長
宮城県医師会会長　　安 田 恒 人

目　　次

平成5−9年の罹患数と部位別割合

平成5−9年（1993−1997年）における5年間の、主要部位別の罹患数と全部位に対する割合を表1に、部位別割合を図1に示す。

男性の部位別割合は、胃が最も多く23.9%を占め、2位が気管･気管支および肺で15.2%を占める。以下、結腸11.9%、直腸7.0%、肝および肝内胆管5.8%、食道5.0%、前立腺4.9%などが続く。

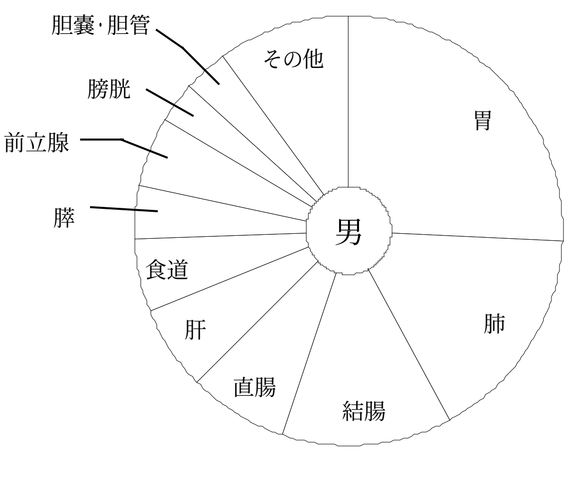
女性では、胃が最も多く16.7%を占め、2位が乳房で15.4%を占める。以下、結腸12.3%、気管･気管支および肺 7.7%、直腸 7.0%、子宮 5.2%、胆嚢および肝外胆管 4.4%、甲状腺 4.2%、膵4.0%などが続く。

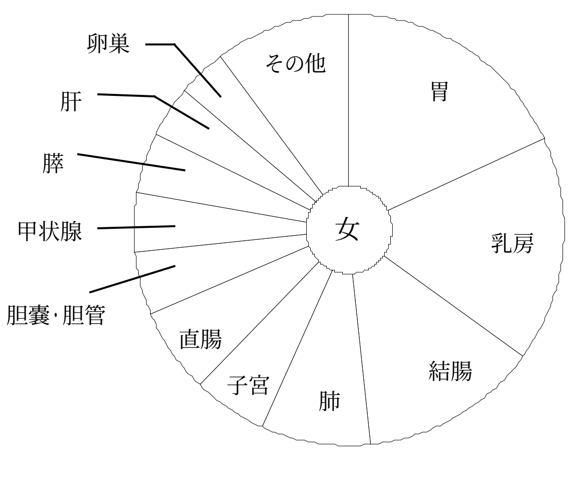
子宮は30年前の昭和35年頃には約20%を占めて胃に次いで2位にあったが、最近では6位に下っており、その頃約8%に過ぎなかった乳房が15.4%を占めて2位に上がってきたのが目立っている。また、結腸は30年前には男で1.9%、女で2.5%を占めるに過ぎなかったのが著しく増加しており男女ともに3位になって、主要な発がん部位となっている。

表1　平成5～9年における性別、主要部位別罹患数および割合

	男		女	
	罹患数	%	罹患数	%
全部位	26,096	100	18,452	100
口唇、口腔および咽頭	514	2.0	203	1.1
食道	1,309	5.0	284	1.5
胃	6,240	23.9	3,086	16.7
結腸	3,100	11.9	2,265	12.3
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	1,827	7.0	1,086	5.9
肝および肝内胆管	1,520	5.8	676	3.7
胆嚢および肝外胆管	771	3.0	810	4.4
膵	943	3.6	728	4.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	100	0.4	56	0.3
喉頭	350	1.3	20	0.1
気管、気管支および肺	3,972	15.2	1,416	7.7
皮膚	265	1.0	251	1.4
乳房	21	0.1	2,833	15.4
子宮	-	-	951	5.2
卵巣	-	-	616	3.3
前立腺	1,269	4.9	-	-
睾丸	98	0.4	-	-
腎およびその他の泌尿器	613	2.4	333	1.8
膀胱	798	3.1	286	1.6
脳およびその他の神経系	178	0.7	144	0.8
甲状腺	125	0.5	765	4.2
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	160	0.6	160	0.9
白血病	405	1.6	296	1.6

図1　平成5～9年におけるがん罹患の部位別割合





罹患率と死亡率の年次推移

昭和 34 年以降の全部位の罹患数と罹患率を表 2 に示す。昭和 42 年までは、資料の都合により 3 年毎にまとめてあるが、43 年以降は 5 年毎にまとめて示した。1 年平均の罹患数は、男は常に増加を続けており、女でも概ね増加し、この 35 年間に男は 4.1 倍、女は 3.1 倍に増えている。もっとも、この間に人口も増加しているので、人口に対する粗罹患率ではそれぞれ 3.1 倍、2.3 倍の増加である。また、人口の高齢化を補正して算出した年齢調整罹患率で観察すると男は 1.5 倍、女は 1.1 倍の増加である。

なお、年齢調整罹患率の計算に用いられた基準人口は「世界人口」である。この基準人口は、がんの罹患率をはじめとして各種の死亡率を国際的に比較する場合に広く用いられているもので、WHO の統計書でも採用している。かつて故瀬木教授ががん死亡率の国際比較のために基準人口として使用した「1950 年世界 46 国合計人口」を、イギリスの R.Doll 卿が年齢階級別の数値を簡略化して、「世界人口」と称してがん罹患率の国際比較に用いることを提唱して以来、国際的に広く普及したものである。

表2 全部位のがん（悪性新生物）の罹患数、及び罹患率の年次推移

	男			女		
	罹患数	粗罹患率	年齢調整罹患率	罹患数	粗罹患率	年齢調整罹患率
昭和34～36年	3,776 (1,259)	148.3	193.2	3,620 (1,207)	134.9	153.2
37～39年	4,034 (1,345)	158.9	194.2	3,582 (1,194)	133.6	141.2
40～42年	4,319 (1,440)	167.8	192.1	4,178 (1,393)	154.4	153.4
43～47年	7,790 (1,558)	175.2	192.8	6,664 (1,333)	143.3	131.8
48～52年	9,845 (1,969)	205.1	208.9	8,208 (1,642)	165.0	139.0
53～57年	12,753 (2,551)	248.6	231.0	10,312 (2,062)	195.2	151.6
58～62年	16,552 (3,310)	308.9	255.0	12,876 (2,575)	233.1	162.9
63～平成4年	21,161 (4,232)	383.0	277.2	15,586 (3,117)	272.6	171.3
平成 5～ 9年	26,096 (5,219)	455.9	290.5	18,452 (3,690)	311.7	175.2

（ ）内は1年平均罹患数、罹患率は人口10万対、年齢調整罹患率は世界人口を基準とする

男性における主要部位の年齢調整罹患率の年次推移を図 2 の左に、年齢調整死亡率の年次推移を図 2 の右に示す。年齢調整死亡率は、厚生労働省人口動態資料をもとに算出した。グラフの縦軸は対数目盛りを用いてあり、同じ割合の増減が同じ傾斜の折線グラフとして表される。全部位の罹患率は上昇傾向にあるが、死亡率は横ばいである。胃は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にあるが、死亡率の低下傾向は、罹患率のそれより大きい。肺は、罹患率と死亡率のいずれも上昇傾向にある。食道は、罹患率は横ばいに対して、死亡率は低下傾向にある。結腸、直腸、前立腺は、罹患率と死亡率のいずれも上昇傾向にあるが、罹患率の上昇傾向は、死亡率のそれより大きい。膵と胆嚢･胆管は、罹患率と死亡率のいずれも、若干の増加傾向にある。白血病と咽頭は、罹患率と死亡率のいずれも横ばいである。

女性における主要部位の年齢調整罹患率の年次推移を図 3 の左に、年齢調整死亡率の年次推移を図 3 の右に示す。全部位の罹患率は若干の上昇傾向にあるが、死亡率はむしろ減少傾向にある。胃は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にあるが、死亡率の低下傾向は、罹患率のそれより大きい。子宮は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にある。乳房は、罹患率と死亡率のいずれも上昇傾向にあるが、罹患率の上昇傾向は死亡率のそれより大きい。肺は、罹患率と死亡率のいずれも、若干の上昇傾向にある。結腸は、罹患率と死亡率のいずれも上昇傾向にあるが、罹患率の上昇傾向は、死亡率のそれより大きい。直腸の罹患率は上昇傾向にあるが、死亡率は横ばいである。膵、胆嚢･胆管、白血病は、罹患率と死亡率のいずれも、おおむね横ばいである。卵巣は、罹患率と死亡率のいずれも上昇傾向にある。食道は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にある。甲状腺の罹患率は上昇傾向にあるが、死亡率は横ばいである。

図2 主要部位別のがんの年齢調整罹患率および年齢調整死亡率の年次推移･男

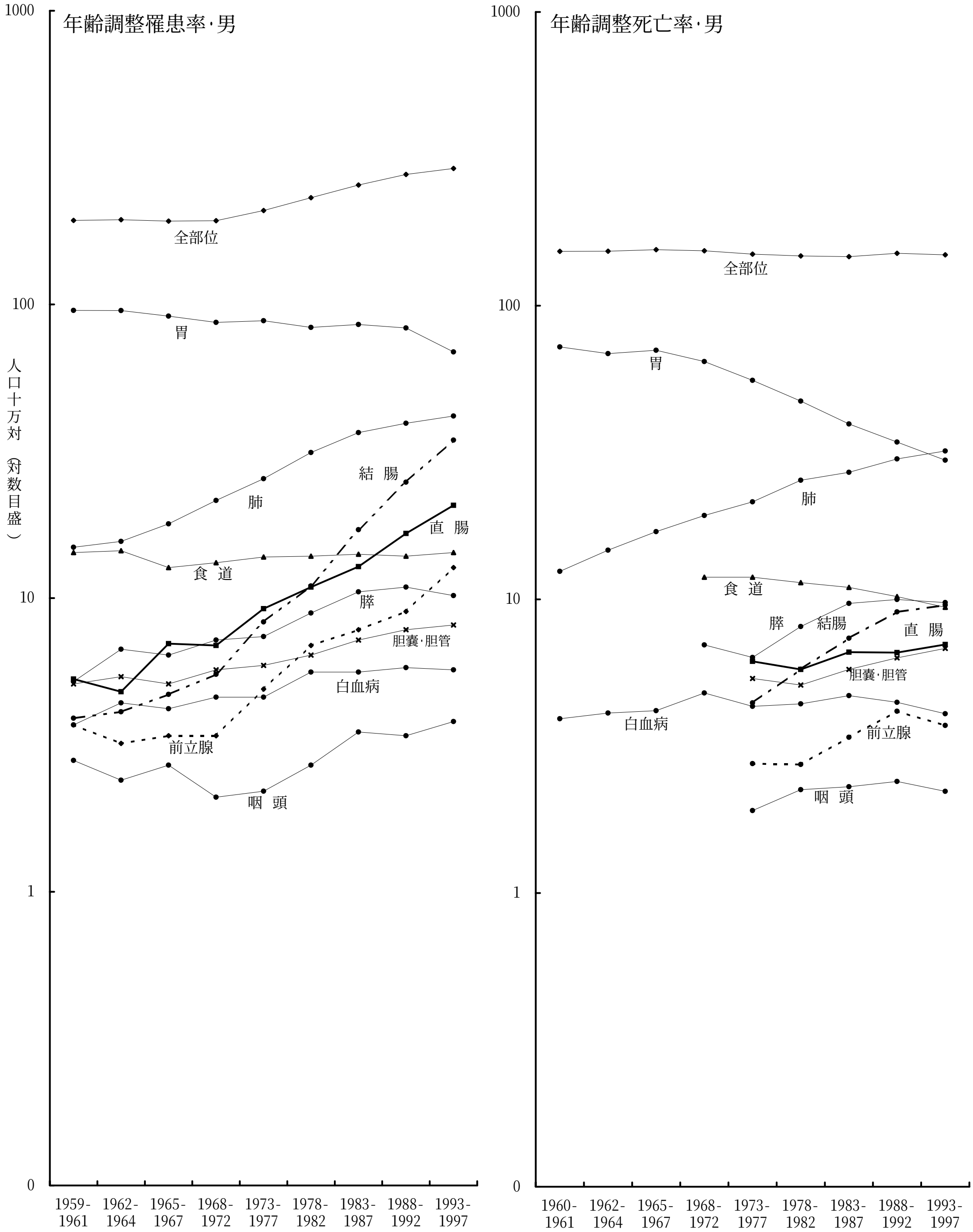
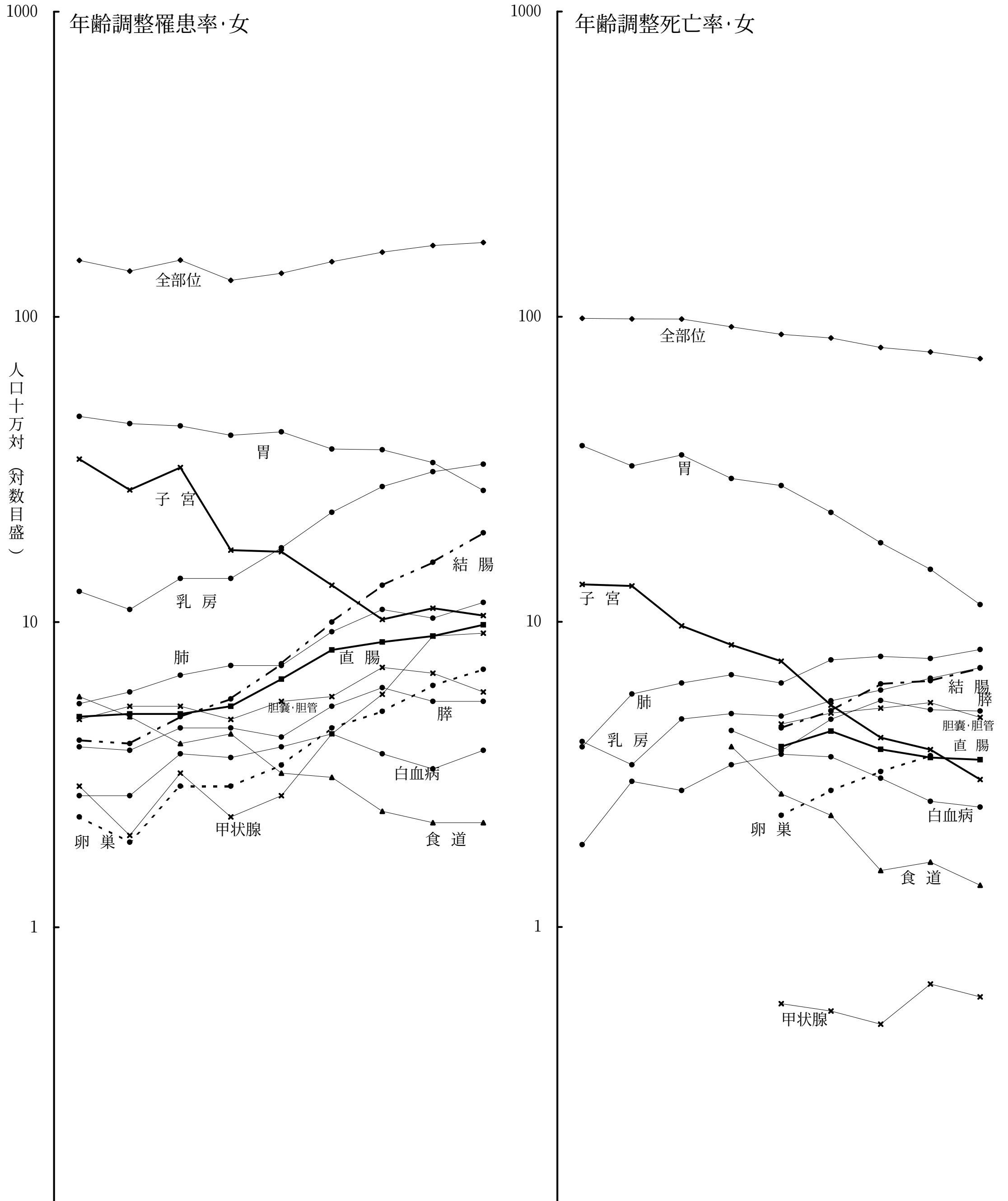


図3 主要部位別のがんの年齢調整罹患率および年齢調整死亡率の年次推移･女



登録の精度

医師又は医療機関にがん患者の報告を義務づけている一部の国や、医療保険の資料を活用している北欧諸国では、ほぼ完全な患者登録を実施できる。わが国では医療施設の自主的な協力に頼って患者情報の報告をお願いすることによって登録を実施しているので、診断された患者のうちどれだけが報告されるかによって、登録の信頼性が大きく左右される。一般に任意の報告を受動的に受理するだけの登録はその精度が低いので、積極的に情報を収集する手段として、本県では主な医療機関への出張採録を当初から実施してきた。

登録精度を表す指標として「死亡診断書の情報のみによるものの割合」が用いられ、この数値の小さい登録ほど精度がよいこととなる。登録された患者の死亡の有無を確認するために死亡診断書（実際には、許可を受けて「人口動態調査死亡小票」を用いる）と照合するが、その際に診断書にがんの記載があるにもかかわらず患者として登録されていないものが判明するので、これを登録患者に追加することとなる。このように死亡診断書の情報によって追加される患者が「死亡診断書の情報のみによるもの」である。

表3に全部位のがんのこの割合の年次推移を示した。初期には約20%であったが、実施主体が東北大学から宮城県へ移管した時期に当たる昭和43－47年には、一時30%を超えた。宮城県への移管後は急速に改善され、昭和63年－平成4年には9.1%まで低下した。実務担当者の交代時期にあたる最近の平成5－9年には、16.5%に上昇している。

平成5－9年における主な部位のこの割合は、表4に示したように、部位によって大きな違いがみられる。睾丸（1.0%）、甲状腺（1.9%）、子宮頚部（2.6%）、乳房（3.6%）は 4%以下で、登録精度が高いが、多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物（40.3%）、膵（40.0%）、肝および肝内胆管（38.7%）、白血病（36.2%）、胆嚢および肝外胆管（31.6%）については精度が劣る。出張採録にも限界があり、採録できない小規模の医療機関だけの受診で終わってしまうような患者の情報が脱漏しがちである。全体として精度が向上しても、特定の部位のがんについてはなお問題が残ることとなる。

表3　「死亡診断書の情報のみによるもの」の割合および「組織診断で確認されたもの」の割合の年次的推移

	死亡診断書の情報のみによるものの割合（%）	組織診断で確認されたものの割合（%）
昭和34～36年	19.4	39.8
37～39年	20.2	42.9
40～42年	25.4	47.4
43～47年	31.3	42.0
48～52年	22.5	59.4
53～57年	14.3	68.9
58～62年	9.8	73.9
63～平成4年	9.1	75.2
平成 5～ 9年	16.5	70.0

表4　平成5～9年における罹患のうち「死亡診断書の情報のみによるもの」および「組織診が実施されたもの」の割合（%）

部　位	DCO	H／I	部　位	DCO	H／I
全部位	16.5	70.0	（再掲）子宮体	5.8	87.5
口唇、口腔および咽頭	7.3	84.8	卵巣	21.8	63.8
食道	12.0	79.9	前立腺	14.4	73.6
胃	13.5	81.4	睾丸	1.0	94.9
結腸	11.2	82.8	腎およびその他の泌尿器	14.4	70.3
直腸	9.4	85.3	膀胱	9.9	81.5
肝および肝内胆管	38.7	26.3	脳およびその他の神経系	21.7	67.1
胆嚢および肝外胆管	31.6	41.8	甲状腺	1.9	92.7
膵	40.0	28.7	ホジキン病	4.1	83.7
喉頭	4.3	91.9	非ホジキンリンパ腫	16.5	75.0
気管、気管支および肺	20.9	48.6	多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	40.3	42.8
皮膚	5.2	90.3	白血病	36.2	51.6
乳房	3.6	91.4	（再掲）リンパ性白血病	26.3	58.2
子宮	9.2	78.4	（再掲）骨髄性白血病	36.7	53.2
（再掲）子宮頚	2.6	81.5			

ＤＣＯ：死亡診断書の情報のみによるもの
Ｈ／Ｉ：組織診実施割合

診断の精度

罹患統計ではさらに診断の正確性が問われ、その指標として、罹患数のうち「組織診断で確認されたもの」の占める割合が用いられている。全部位におけるこの割合の推移状況を表 3 に示す。初期には 40－50%程度であったが、近年では 70%程度にまで上昇し、宮城県におけるがん診断の正確性が着実に向上していることがわかる。なお、患者情報の採録活動が進展するに伴って、診断方法、組織診断名などの登録情報の質も向上したことも、この割合の増加に寄与している。

最新年次（平成 5－9 年）における主な部位のこの割合は表 4 に併記した通りであり、甲状腺、乳房、皮膚、睾丸、喉頭は 90%以上を示しており、一方、肝および肝内胆管、胆嚢および肝外胆管、膵、気管･気管支および肺、多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物は 50%に達しておらず、診断の正確性にも部位によってかなり大きな違いが存在している。根治手術の可能な時期に発見される場合には組織診断が実施されるので、比較的早期に発見され易い部位のがんでは診断の正確性が良く、早期発見が困難で内科的姑息治療のみが施されることの多い部位では組織診断の実施が少なく、診断の正確性の評価が劣ることとなる。また、死亡診断書の情報のみによる患者については組織診断の情報がないので、登録精度が劣る場合には診断の正確性も劣ることとなる。

平成 5－9 年の罹患登録症例における、手術を実施した症例の割合を、部位ごとに表5に示す。ここでいう「手術」とは、登録調査票にいう「病巣切除あり」「病巣切除なし」「病巣切除不明」の手術を合わせたものである。手術を施行した症例の割合は、全部位では67.5%であった。直腸（90.1%）、乳房（91.4%）、睾丸（94.9%）、甲状腺（94.3%）では、手術施行割合は 90%以上と高かった。一方、肝および肝内胆管（19.5%）、膵（43.9%）、気管･気管支および肺（33.5%）、前立腺（45.4%）では、手術施行割合が 50%未満と低かった。

表5 平成5～9年における罹患のうち手術を実施したものの割合（%）

部　位	%
全部位	67.5
口唇、口腔および咽頭	52.0
食道	60.8
胃	79.9
結腸	89.3
直腸	90.1
肝および肝内胆管	19.5
胆嚢および肝外胆管	56.8
膵	43.9
喉頭	56.2
気管、気管支および肺	33.5
皮膚	82.8
乳房	91.4
子宮	64.9
（再掲）子宮頸	52.8
（再掲）子宮体	82.5
卵巣	78.6
前立腺	45.4
睾丸	94.9
腎およびその他の泌尿器	77.3
膀胱	79.5
脳およびその他の神経系	76.6
甲状腺	94.3

平成 5－9 年の罹患登録症例における、臨床進行度別の症例割合を、部位ごとに表 6 に示す。臨床進行度が判明した症例の割合は、全部位では 72.1%であった。この割合は、胃（81.5%）、結腸（86.4%）、直腸（85.2%）、乳房（83.1%）では、80%以上で比較的高かった。一方、肝および肝内胆管（36.5%）、皮膚（34.8%）、脳およびその他の神経系（13.9%）では、40%未満で低かった。

臨床進行度が判明した症例における、「限局」症例の割合は、全部位では 45.9%であった。この割合は、喉頭（69.6%）、皮膚（76.5%）、子宮体部（69.0%）、膀胱（82.2%）、脳およびその他の神経系（80.0%）では、60%以上で比較的高かった。一方、胆嚢および肝外胆管（23.7%）、膵（8.7%）、気管･気管支および肺（22.5%）では、30%未満で低かった。

臨床進行度が判明した症例における、「遠隔転移」症例の割合は、全部位では 23.9%であった。この割合は、膵臓（58.5%）、気管･気管支および肺（42.8%）、前立腺（45.6%）では、40%以上で高かった。一方、喉頭（4.2%）、皮膚（7.7%）、乳房（5.9%）、子宮頸部（7.4%）、子宮体部（6.6%）、膀胱（5.8%）、脳およびその他の神経系（8.6%）、甲状腺（3.8%）では、10%未満と比較的低かった。

表6 平成5～9年における各部位の臨床進行度別割合（%）

部位	届出患者数	不明	判明	（%）	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移
全部位	37,177	10,382	26,795	72.1	45.9	14.5	15.8	23.9
口唇、口腔および咽頭	665	285	380	57.1	31.8	31.1	27.1	10.0
食道	1,402	416	986	70.3	32.3	21.1	27.9	18.8
胃	8,063	1,492	6,571	81.5	56.2	15.4	11.8	16.6
結腸	4,763	650	4,113	86.4	57.6	13.6	13.5	15.3
直腸	2,640	391	2,249	85.2	52.3	14.4	18.3	15.1
肝および肝内胆管	1,347	856	491	36.5	57.8	2.0	13.0	27.1
胆嚢および肝外胆管	1,082	366	716	66.2	23.7	9.1	38.4	28.8
膵	1,003	350	653	65.1	8.7	7.2	25.6	58.5
喉頭	354	137	217	61.3	69.6	12.4	13.8	4.2
気管、気管支および肺	4,263	1,774	2,489	58.4	22.5	11.6	23.1	42.8
皮膚	489	319	170	34.8	76.5	8.2	7.7	7.7
乳房	2,750	465	2,285	83.1	54.3	33.7	6.2	5.9
子宮	864	259	605	70.0	58.0	3.5	30.9	7.6
（再掲）子宮頚	483	159	324	67.1	50.0	3.4	39.2	7.4
（再掲）子宮体	355	84	271	76.3	69.0	3.7	20.7	6.6
卵巣	482	147	335	69.5	32.5	2.1	42.4	23.0
前立腺	1,086	514	572	52.7	41.3	2.3	10.8	45.6
睾丸	97	24	73	75.3	58.9	16.4	2.7	21.9
腎およびその他の泌尿器	810	221	589	72.7	58.7	3.1	18.9	19.4
膀胱	977	422	555	56.8	82.2	1.8	10.3	5.8
脳およびその他の神経系	252	217	35	13.9	80.0	0.0	11.4	8.6
甲状腺	873	168	705	80.8	35.2	42.8	18.2	3.8

がん検診の寄与

平成５－９年の罹患登録症例における、検診で発見された症例の割合を、部位ごとに表７に示す。ここでいう「検診」は、集団検診と、人間ドック等の健康診断の双方が含まれている。また、子宮頚部について、本報告の他の集計では、上皮内がんを除く浸潤がんのみについての数値を示しているが、検診の寄与に関する集計（表 7、表 8、図 4）にかぎり、上皮内がんと浸潤がんを合わせた集計結果を示す。

表7 平成5～9年における罹患のうち
検診で発見されたものの割合（%）

部　位	%
全部位 1)	16.3
口唇、口腔および咽頭	0.7
食道	9.4
胃	24.4
結腸	22.8
直腸	19.3
肝および肝内胆管	5.8
胆嚢および肝外胆管	2.9
膵	1.9
喉頭	3.8
気管、気管支および肺	22.0
皮膚	0.4
女性乳房	16.3
子宮 1)	34.8
（再掲）子宮頚 1)	45.8
（再掲）子宮体	9.8
卵巣	4.9
前立腺	2.2
睾丸	1.0
腎およびその他の泌尿器	12.6
膀胱	5.3
脳およびその他の神経系	0.3
甲状腺	35.7

注1)子宮頚部の上皮内癌を含む

検診で発見された症例は、全部位では 16.3%であった。市町村による集団検診が実施されている部位のうち、胃(24.4%)、結腸(22.8%)、直腸(19.3%)、気管･気管支および肺(22.0%)、子宮頚部(45.8%、上皮内がん含む)では、検診発見がんの占める割合が比較的高かったのに対して、乳房(16.3%)および子宮体部(9.8%)では、この割合は比較的低かった。集団検診が実施されていない部位の中では、腎およびその他の泌尿器(12.6%)において、検診発見がんの割合が比較的高かった。

今日市町村による集団検診が実施されている部位について、罹患症例に占める検診発見症例の割合の年次推移を、表8と図4に示す。全期間(1978－1997 年)を通じた検診発見症例の割合は、子宮頚部(40.0%)が最も高く、肺(22.9%)、胃(22.2%)、女性乳房(15.2%)、結腸(12.9%)、直腸(9.8%)、子宮体部(8.7%)の順に続いた。結腸と直腸については、大腸がん検診が老人保健法に基づく保健事業として導入された 1992 年の翌年にあたる 1993 年から、急激に増加している。他の部位については、これほど顕著な変化はなく、おおむね横ばいである。

表8 検診発見割合の年次推移

	胃	結腸	直腸	肺	女性乳房	子宮頚 1)	子宮体
	検診発見割合(%)	検診発見割合(%)	検診発見割合(%)	検診発見割合(%)	検診発見割合(%)	検診発見割合(%)	検診発見割合(%)
1978	17.1	0.0	0.0	12.2	11.2	39.2	6.9
1979	14.1	0.4	2.0	17.4	8.6	40.0	11.4
1980	16.8	1.9	0.9	16.7	14.0	43.9	11.1
1981	16.3	1.3	0.8	22.1	11.7	37.8	4.4
1982	19.4	2.4	1.8	22.0	21.2	33.6	0.0
1983	18.2	1.6	2.7	25.0	16.6	47.5	17.8
1984	20.0	3.8	2.6	21.4	14.9	33.8	9.8
1985	22.3	3.3	4.7	22.9	18.4	47.8	11.1
1986	25.6	6.3	5.5	25.6	17.2	45.5	7.0
1987	22.9	6.1	4.7	27.5	16.5	40.6	11.7
1988	23.9	5.3	5.5	24.6	16.0	28.7	1.5
1989	25.9	4.7	5.1	24.6	16.0	35.0	7.6
1990	25.3	6.9	5.4	24.0	15.2	35.0	4.3
1991	25.7	9.2	6.1	28.2	10.3	27.6	10.1
1992	20.7	11.0	6.3	25.4	10.9	26.5	9.2
1993	30.8	20.0	18.4	26.4	16.7	63.9	14.5
1994	24.1	24.5	21.3	25.3	18.2	51.4	13.9
1995	23.8	22.4	19.5	21.0	16.2	39.1	12.7
1996	22.6	23.0	18.9	19.4	16.1	40.6	5.1
1997	19.9	22.7	18.5	18.0	14.9	29.9	6.0
平均	22.2	12.9	9.8	22.9	15.2	40.0	8.7

1) 上皮内がんを含む

市町村別観察

1　標準化罹患比

がん罹患の県内における地域差を観察するために、平成５－9 年の主要部位の標準化罹患率比を算出した。同年における宮城県合計の性別、年齢５歳階級別罹患率を平成７年の国勢調査による各市区町村の性別、年齢階級別人口に適用して男女合計の期待罹患数を計算し、実際の罹患数と期待値との比を求め百分率で表したものである。これは、県合計の罹患率を 100 とする場合の各市区町村の標準化罹患率の相対比である。（標準化率とは年齢調整率と同義語であり、計算方法が異なるためにこの用語が用いられるのが通例であり、この場合の基準人口は平成 7 年の宮城県合計の性別、年齢階級別人口と理解してよい。）

図 5 と付表 4 に、全部位および主要部位に関する、5 年間の男女合計の罹患数と標準化罹患比を示す。標準化比の統計的有意性は、95％信頼区間によって検定し、有意水準は両側 5％となる。以下、標準化罹患比が有意に 100 より高値または低値を示した市町村を示す。

全部位は、仙台市青葉区、宮城野区、若林区、塩釜市、気仙沼市、柴田町、亘理町、瀬峰町、雄勝町が 100 より高い。古川市、川崎町、丸森町、山元町、大和町、大郷町、大衡村、宮崎町、若柳町、栗駒町、金成町、登米町、中田町、豊里町、米山町、桃生町、津山町が 100 より低い。

食道は、仙台市青葉区、若林区、利府町が 100 より高い。蔵王町、丸森町が 100 より低い。

胃は、柴田町、松島町、七ヶ浜町、中新田町、色麻町、石越町、雄勝町が 100 より高い。仙台市青葉区、太白区、山元町、金成町、登米町、豊里町が 100 より低い。高率地域が北部に集積している。

結腸は、仙台市青葉区、宮城野区、若林区、塩釜市、名取市、富谷町、築館町が 100 より高い。角田市、丸森町、大衡村、栗駒町、東和町、石越町、矢本町、河南町、津山町、唐桑町が 100 より低い。都市部に高いという明らかな特徴が認められる。

直腸は、仙台市宮城野区、若林区、塩釜市、小野田町、迫町が 100 より高い。岩沼市、丸森町、岩出山町、栗駒町、東和町が 100 より低い。

肝および肝内胆管は、仙台市宮城野区、石巻市、亘理町、鳴子町、涌谷町、瀬峰町、雄勝町が 100 より高い。気仙沼市、小野田町、栗駒町、東和町、中田町、桃生町、志津川町が 100 より低い。

多くの市町が高率、または低率を示すが、それぞれが一定の地域に集積することなく散在している。

胆嚢および肝外胆管は、白石市、多賀城市、南郷町、桃生町が 100 より高い。仙台市太白区が 100 より低い。

膵は、塩釜市、小牛田町が 100 より高い。

気管、気管支および肺は、多賀城市、矢本町が 100 より高い。鹿島台町、若柳町、栗駒町が 100 より低い。

女性乳房は、仙台市青葉区、泉区、気仙沼市、柴田町、亘理町が 100 より高い。蔵王町、村田町、丸森町、大和町、若柳町、栗駒町、一迫町、米山町が 100 より低い。都市部に高いのが結腸に似ている。

子宮は、気仙沼市、柴田町が 100 より高い。登米町、石越町、唐桑町が 100 より低い。

前立腺は、仙台市青葉区、名取市が 100 より高い。石巻市、矢本町、桃生町、鳴瀬町が 100 より低い。

以上の結果について、統計的に有意性が認められても、必ずしもその市区町村が常に高いまたは低い罹患率を示すことを意味するものではない。昭和 53－62 年について同様に観察した結果が、平成 6 年に本委員会が刊行した「宮城県のがん」に掲載されている。また、昭和 63－平成 4 年についての結果が、宮城県医師会報（1997;619:461-475）に掲載されている。

図 5 平成 5〜9 年における市区町村別、主要部位別がん標準化罹患比

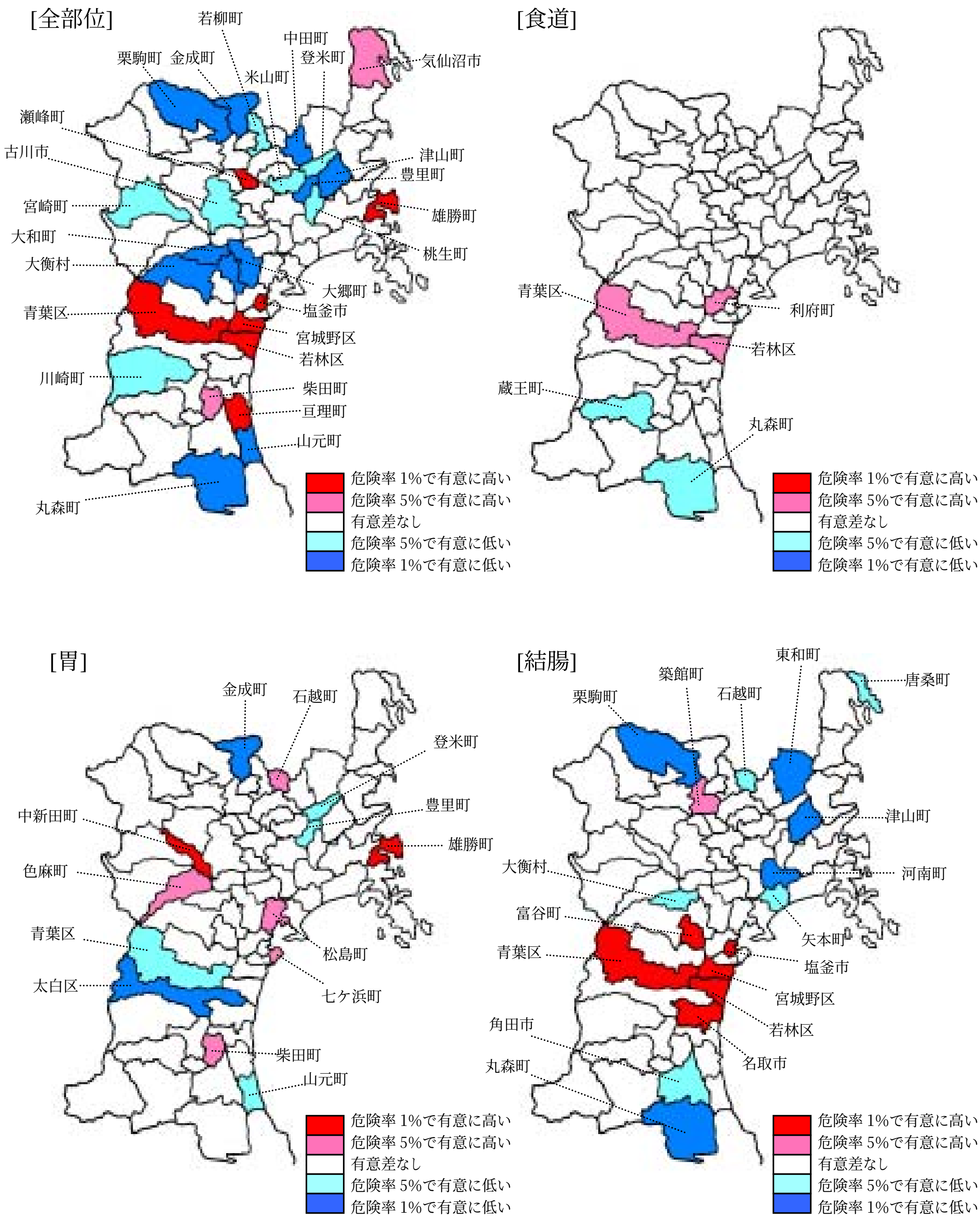
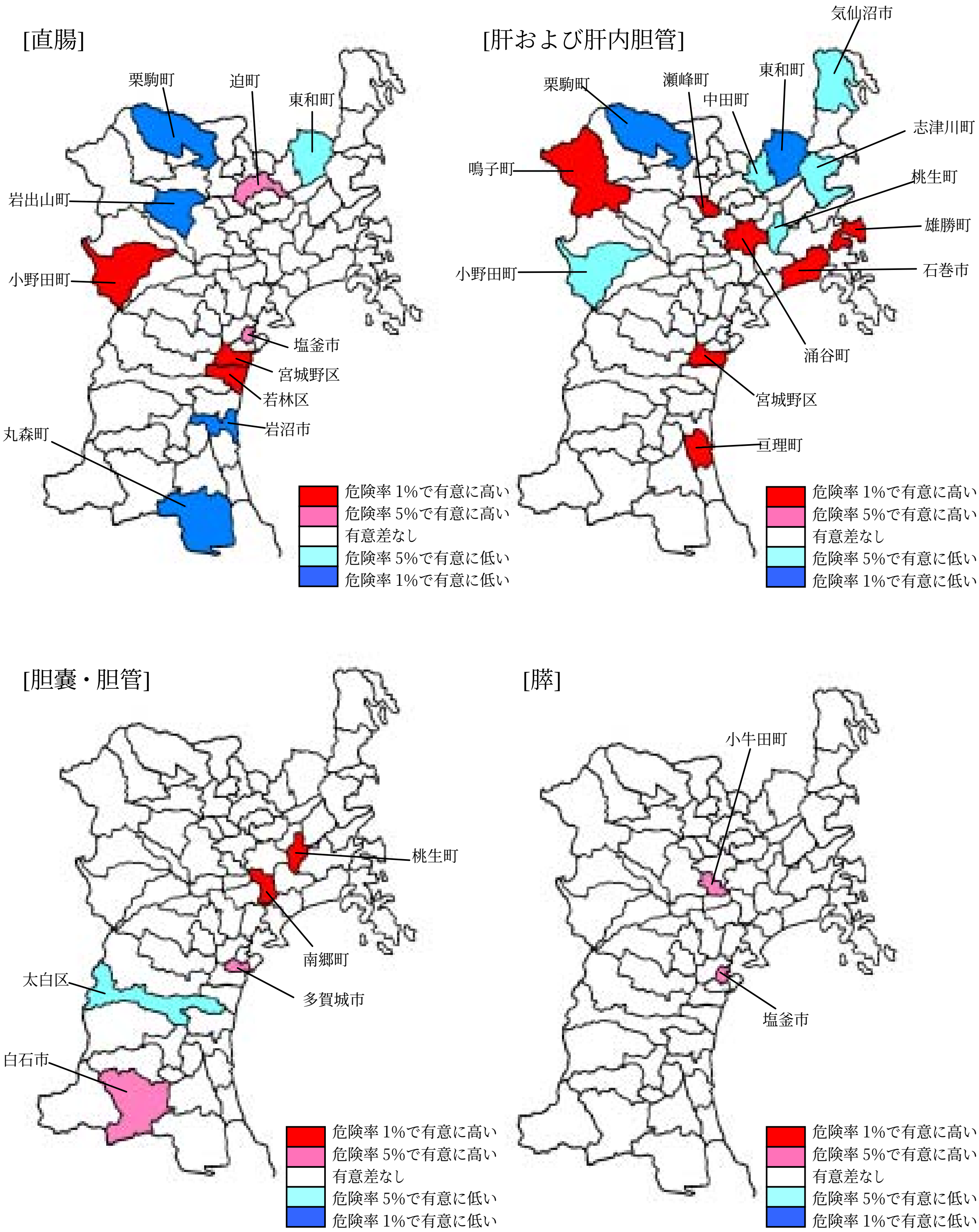


図 5（続き）


[直腸]
栗駒町
迫町
東和町
岩出山町
小野田町
塩釜市
宮城野区
若林区
岩沼市
丸森町
危険率 1%で有意に高い
危険率 5%で有意に高い
有意差なし
危険率 5%で有意に低い
危険率 1%で有意に低い
[肝および肝内胆管]
気仙沼市
栗駒町
瀬峰町
東和町
中田町
志津川町
鳴子町
桃生町
雄勝町
石巻市
小野田町
涌谷町
宮城野区
亘理町
危険率 1%で有意に高い
危険率 5%で有意に高い
有意差なし
危険率 5%で有意に低い
危険率 1%で有意に低い
[胆嚢・胆管]
桃生町
南郷町
太白区
多賀城市
白石市
危険率 1%で有意に高い
危険率 5%で有意に高い
有意差なし
危険率 5%で有意に低い
危険率 1%で有意に低い
[膵]
小牛田町
塩釜市
危険率 1%で有意に高い
危険率 5%で有意に高い
有意差なし
危険率 5%で有意に低い
危険率 1%で有意に低い

2 検診発見割合

平成 5－9 年の罹患登録症例のうち、市町村による集団検診が実施されている部位について、罹患症例総数、検診発見症例数とその割合を、市町村別に付表5に示す。

胃では、検診発見割合が高かったのは、高清水町（46.9％）、東和町（44.2％）、七ヶ宿町（40.0％）、田尻町（39.2％）、迫町（38.4％）であった。検診発見割合が低かったのは、唐桑町（8.6%）、蔵王町（8.7%）、大衡村（9.1%）、村田町（10.9%）、鶯沢町（11.8%）であった。

結腸では、検診発見割合が高かったのは、牡鹿町（68.2%）、石越町（66.7%）、花山村（60.0%）、桃生町（58.3%）、高清水町（50.0%）であった。検診発見割合が低かったのは、大郷町（0.0%）、歌津町（0.0%）、村田町（3.8%）、栗駒町（4.2%）、丸森町（7.7%）であった。

直腸では、検診発見割合が高かったのは、鶯沢町（62.5％）、津山町（57.1％）、高清水町（55.6%）、金成町（54.5%）、志波姫町（45.5%）であった。検診発見割合が低かったのは、大衡村（0.0%）、花山村（0.0%）、豊里町（0.0%）、桃生町（0.0%）、北上町（0.0%）であった。

肺では、検診発見割合が高かったのは、小野田町（68.4％）、七ヶ宿町（60.0％）、宮崎町（55.6%）、花山村（55.6%）、歌津町（55.6%）であった。検診発見割合が低かったのは、本吉町（10.3%）、気仙沼市（11.8%）、名取市（12.2%）、亘理町（12.2%）、塩釜市（12.3%）であった。

女性乳房では、検診発見割合が高かったのは、七ヶ宿町（100％）、鶯沢町（100％）、米山町（50.0%）、津山町（50.0%）、東和町（46.7%）であった。検診発見割合が低かったのは、山元町（0.0%）、大衡村（0.0%）、色麻町（0.0%）、若柳町（0.0%）、高清水町（0.0%）、花山村（0.0%）、豊里町（0.0%）、石越町（0.0%）、南方町（0.0%）、牡鹿町（0.0%）、歌津町（0.0%）であった。

子宮（頚部･体部･部位不明の浸潤がんと、子宮頚部上皮内がんの合計）では、検診発見割合が高かったのは、石越町（100%）、大衡村（75.0%）、松山町（66.7%）、涌谷町（66.7%）、南方町（66.7%）であった。検診発見割合が低かったのは、七ヶ宿町（0.0%）、宮崎町（0.0%）、色麻町（0.0%）、鹿島台町（0.0%）、高清水町（0.0%）、鶯沢町（0.0%）、花山村（0.0%）、登米町（0.0%）、雄勝町（0.0％）、北上町（0.0％）、津山町（0.0％）、本吉町（0.0％）、唐桑町（0.0％）、歌津町（0.0%）であった。

付表1 平成5～9年における各部位の年齢階級別罹患数･男性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-59	80-84	85+	総計
口唇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	4
舌	0	0	0	0	0	2	4	6	5	7	16	12	27	17	19	14	3	2	134
口腔	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	13	14	15	14	18	9	4	2	95
唾液腺	0	0	0	0	2	0	0	0	2	3	2	2	9	3	4	5	3	1	36
中咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	7	10	11	12	12	4	4	2	72
鼻咽頭	0	0	2	1	1	0	2	0	1	8	8	2	4	5	2	3	2	0	41
下咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6	9	28	23	20	12	9	3	116
その他および不明の口腔･咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	4	3	0	3	16
食道	0	0	0	0	0	0	1	1	9	30	90	160	207	301	238	148	83	41	1,309
胃	0	1	0	1	3	8	22	64	160	285	398	638	986	1,178	1,014	732	479	271	6,240
小腸	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	7	6	14	8	3	3	1	50
結腸	0	0	0	3	3	2	7	24	67	156	223	310	545	598	500	361	186	115	3,100
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	0	0	0	0	1	3	7	17	58	119	161	216	301	338	265	185	99	57	1,827
肝および肝内胆管	0	0	0	0	1	0	4	11	22	64	93	172	305	290	253	152	93	60	1,520
胆嚢	0	0	0	0	0	0	3	4	7	21	28	55	80	137	143	126	100	67	771
膵臓	0	0	0	0	0	1	2	6	14	41	50	68	141	178	147	120	105	70	943
鼻腔、中耳および副鼻腔	0	0	0	0	0	1	1	1	7	6	7	9	9	18	20	8	8	5	100
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	2	1	19	19	30	62	83	66	38	21	9	350
気管、気管支および肺	0	0	1	3	2	3	5	24	34	90	166	226	486	852	801	609	459	211	3,972
胸腺および胸腔内臓器	3	0	0	1	1	1	2	0	5	3	5	4	13	13	10	4	6	5	76
骨	0	2	4	8	2	2	3	1	4	1	3	3	6	5	4	4	1	0	53
皮膚の黒色腫	0	0	0	0	1	2	0	0	1	3	3	3	1	1	5	4	1	0	25
皮膚その他	0	1	0	0	0	3	3	2	11	11	11	13	29	32	23	41	23	37	240
中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	1	1	3	3	2	1	1	19
カポジ肉腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結合組織、他軟部組織	5	4	5	4	2	4	3	2	6	4	0	5	15	8	9	6	5	4	91
乳房	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	2	2	5	3	2	2	21
陰茎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	6	4	2	2	3	22
前立腺	0	0	1	0	1	0	0	1	1	2	7	37	111	222	244	260	223	159	1,269
睾丸	4	1	0	3	8	18	24	12	8	10	2	1	0	4	1	2	0	0	98
他男性性器	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	2	1	2	3	1	1	1	15
腎およびその他の泌尿器	3	1	0	0	1	1	5	11	20	31	60	66	99	113	78	68	35	21	613
膀胱	0	0	0	0	2	1	6	11	24	29	47	49	105	125	136	115	90	58	798
眼	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	3	1	2	0	1	19
脳およびその他の神経系	6	6	7	11	3	5	13	11	4	11	14	17	22	22	9	12	3	2	178
甲状腺	0	0	0	1	3	0	4	5	10	18	12	13	20	13	13	9	1	3	125
その他の内分泌腺	16	2	3	5	1	1	1	0	0	0	2	1	2	2	5	4	0	1	46
ホジキン病	0	2	0	0	2	4	1	1	1	5	4	1	3	3	5	2	1	0	35
非ホジキンﾘﾝﾊﾟ腫	3	5	5	11	6	5	9	17	25	31	36	47	69	69	71	51	38	18	516
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	0	0	0	0	0	0	0	2	2	7	10	11	16	28	31	25	14	14	160
ﾘﾝﾊﾟ性白血病	12	7	12	7	3	3	4	3	2	8	5	6	11	11	7	6	8	1	116
骨髄性白血病	0	7	3	9	5	3	7	3	18	14	16	28	20	36	32	21	17	9	248
単球性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
その他の白血病	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	1	7
細胞形態不明の白血病	1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	2	4	0	3	3	3	6	4	31
他および部位不明	7	0	3	3	3	2	5	12	18	22	23	45	58	87	98	85	51	54	576
全部位	67	39	47	71	57	76	150	258	557	1,089	1,560	2,299	3,833	4,880	4,337	3,265	2,190	1,321	26,096

付表1 平成5～9年における各部位の年齢階級別罹患数･女性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-59	80-84	85+	総計
口唇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1	2	8
舌	0	0	0	0	1	4	2	4	3	8	4	1	10	6	2	5	4	10	64
口腔	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	3	2	9	4	6	8	8	7	55
唾液腺	0	0	0	1	0	0	1	1	2	2	1	4	3	2	3	3	1	0	24
中咽頭	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	4	1	0	0	0	10
鼻咽頭	0	0	1	1	1	1	0	0	3	0	0	3	5	3	2	1	1	2	24
下咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	6	0	2	0	1	15
その他および不明の口腔･咽頭	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
食道	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	13	24	24	48	45	47	37	36	284
胃	2	0	0	0	3	13	35	63	135	167	161	222	300	420	465	461	348	291	3,086
小腸	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	1	2	3	8	1	7	6	5	42
結腸	0	0	0	1	2	2	12	16	51	82	132	209	301	340	376	314	247	180	2,265
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	0	0	0	1	0	4	7	11	26	63	79	105	153	159	154	146	108	70	1,086
肝および肝内胆管	2	0	1	1	0	0	2	1	6	7	12	47	93	109	143	102	90	60	676
胆嚢	0	0	0	0	0	1	2	2	6	14	29	52	60	81	138	136	159	130	810
膵臓	0	0	0	0	0	0	3	2	4	10	24	50	66	87	136	129	125	92	728
鼻腔、中耳および副鼻腔	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	3	3	10	7	5	7	7	7	56
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2	1	6	4	2	1	20
気管、気管支および肺	0	0	0	0	1	2	5	10	23	63	53	80	171	226	221	228	190	143	1,416
胸腺および胸腔内臓器	1	0	0	1	1	0	0	2	3	1	3	1	2	2	2	2	4	1	26
骨	1	0	2	7	2	2	1	4	1	0	4	1	2	3	5	0	2	2	39
皮膚の黒色腫	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4	3	2	1	5	2	3	2	4	29
皮膚その他	0	0	0	0	0	0	3	3	2	2	8	7	16	31	25	34	46	45	222
中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	1	0	2	1	9
カポジ肉腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結合組織、他軟部組織	3	0	1	3	0	4	1	4	4	8	3	3	8	10	6	3	2	3	66
乳房	0	0	0	1	6	20	61	151	349	541	337	312	303	286	228	119	77	42	2,833
外陰、膣、他女性性器	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	8	9	8	6	10	4	6	56
子宮頚部	0	0	0	0	0	7	47	37	66	59	49	48	37	41	44	35	18	8	496
子宮体部	0	0	0	0	0	1	8	13	21	46	47	68	55	42	40	16	9	11	377
子宮部位不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1	7	4	6	3	12	35	78
卵巣	0	1	1	10	12	10	11	28	44	90	75	70	67	59	38	42	29	29	616
胎盤	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腎およびその他の泌尿器	2	1	0	0	1	1	2	1	13	15	19	24	45	47	50	55	34	23	333
膀胱	0	0	0	0	2	0	1	3	7	5	8	22	35	33	39	46	52	33	286
眼	4	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	1	0	1	0	1	13
脳およびその他の神経系	2	6	2	5	6	5	4	6	13	11	10	8	18	9	13	17	7	2	144
甲状腺	0	0	0	7	12	18	32	52	84	96	88	106	89	80	41	27	21	12	765
その他の内分泌腺	9	1	0	1	1	0	0	1	0	3	2	1	3	3	3	1	2	1	32
ホジキン病	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	2	1	0	3	0	1	1	14
非ホジキンﾘﾝﾊﾟ腫	1	1	1	4	6	1	5	5	15	25	19	25	47	65	59	61	35	25	400
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	6	9	25	25	28	25	25	12	160
ﾘﾝﾊﾟ性白血病	12	5	7	4	3	2	2	0	1	4	4	12	5	11	11	6	5	3	97
骨髄性白血病	1	1	5	2	6	3	5	6	9	8	4	14	15	18	19	18	10	14	158
単球性白血病	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
その他の白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	0	7
細胞形態不明の白血病	1	0	2	0	1	1	0	0	1	1	1	2	2	3	3	3	5	5	31
他および部位不明	1	2	0	3	2	3	2	5	20	18	24	39	39	56	54	69	81	71	489
全部位	42	18	24	55	72	109	255	436	933	1,386	1,237	1,594	2,051	2,360	2,431	2,201	1,821	1,427	18,452

付表2 平成5～9年における各部位の年齢階級別罹患率、粗罹患率および年齢調整罹患率･男性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-59	80-84	85+	粗罹患率	年齢調整罹患
口唇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.3	-	0.5	-	-	2.5	0.1	0.0
舌	-	-	-	-	-	0.5	1.1	1.6	1.1	1.5	4.4	3.6	8.4	6.0	10.0	11.9	4.2	5.0	2.3	1.6
口腔	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4	0.9	3.6	4.2	4.7	4.9	9.5	7.7	5.6	5.0	1.7	1.1
唾液腺	-	-	-	-	0.4	-	-	-	0.4	0.6	0.6	0.6	2.8	1.1	2.1	4.3	4.2	2.5	0.6	0.4
中咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	1.9	1.9	3.0	3.4	4.2	6.3	3.4	5.6	5.0	1.3	0.8
鼻咽頭	-	-	0.5	0.2	0.2	-	0.5	-	0.2	1.7	2.2	0.6	1.2	1.8	1.1	2.6	2.8	-	0.7	0.5
下咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	1.1	1.7	2.7	8.7	8.1	10.6	10.2	12.6	7.4	2.0	1.3
その他および不明の口腔･咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	0.9	0.7	2.1	2.6	-	7.4	0.3	0.2
食道	-	-	-	-	-	-	0.3	0.3	2.0	6.4	24.8	48.5	64.2	105.7	125.7	125.9	116.6	101.5	22.9	14.3
胃	-	0.3	-	0.2	0.6	2.1	6.0	16.6	35.6	60.6	109.8	193.3	305.8	413.5	535.7	622.9	673.0	670.9	109.0	68.9
小腸	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4	0.4	1.1	2.1	1.9	4.9	4.2	2.6	4.2	2.5	0.9	0.6
結腸	-	-	-	0.6	0.6	0.5	1.9	6.2	14.9	33.2	61.5	93.9	169.0	209.9	264.2	307.2	261.3	284.7	54.2	34.5
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	-	-	-	-	0.2	0.8	1.9	4.4	12.9	25.3	44.4	65.5	93.3	118.7	140.0	157.4	139.1	141.1	31.9	20.7
肝および肝内胆管	-	-	-	-	0.2	-	1.1	2.8	4.9	13.6	25.7	52.1	94.6	101.8	133.7	129.3	130.7	148.5	26.6	16.9
胆嚢	-	-	-	-	-	-	0.8	1.0	1.6	4.5	7.7	16.7	24.8	48.1	75.6	107.2	140.5	165.9	13.5	8.1
膵臓	-	-	-	-	-	0.3	0.5	1.6	3.1	8.7	13.8	20.6	43.7	62.5	77.7	102.1	147.5	173.3	16.5	10.2
鼻腔、中耳および副鼻腔	-	-	-	-	-	0.3	0.3	0.3	1.6	1.3	1.9	2.7	2.8	6.3	10.6	6.8	11.2	12.4	1.7	1.1
喉頭	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.2	4.0	5.2	9.1	19.2	29.1	34.9	32.3	29.5	22.3	6.1	3.8
気管、気管支および肺	-	-	0.3	0.6	0.4	0.8	1.4	6.2	7.6	19.1	45.8	68.5	150.7	299.1	423.2	518.2	644.9	522.3	69.4	41.7
胸腺および胸腔内臓器	1.0	-	-	0.2	0.2	0.3	0.5	-	1.1	0.6	1.4	1.2	4.0	4.6	5.3	3.4	8.4	12.4	1.3	1.0
骨	-	0.6	1.0	1.7	0.4	0.5	0.8	0.3	0.9	0.2	0.8	0.9	1.9	1.8	2.1	3.4	1.4	-	0.9	0.8
皮膚の黒色腫	-	-	-	-	0.2	0.5	-	-	0.2	0.6	0.8	0.9	0.3	0.4	2.6	3.4	1.4	-	0.4	0.3
皮膚その他	-	0.3	-	-	-	0.8	0.8	0.5	2.4	2.3	3.0	3.9	9.0	11.2	12.2	34.9	32.3	91.6	4.2	2.7
中皮腫	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.4	1.1	0.3	0.3	1.1	1.6	1.7	1.4	2.5	0.3	0.2
カポジ肉腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
結合組織、他軟部組織	1.7	1.2	1.3	0.9	0.4	1.1	0.8	0.5	1.3	0.9	-	1.5	4.7	2.8	4.8	5.1	7.0	9.9	1.6	1.4
乳房	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	0.2	0.3	-	0.6	0.7	2.6	2.6	2.8	5.0	0.4	0.2
陰茎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.3	0.6	0.3	2.1	2.1	1.7	2.8	7.4	0.4	0.2
前立腺	-	-	0.3	-	0.2	-	-	0.3	0.2	0.4	1.9	11.2	34.4	77.9	128.9	221.2	313.3	393.6	22.2	12.7
睾丸	1.4	0.3	-	0.6	1.7	4.8	6.5	3.1	1.8	2.1	0.6	0.3	-	1.4	0.5	1.7	-	-	1.7	1.7
他男性性器	-	-	-	-	-	0.3	0.5	-	-	0.2	-	0.6	0.3	0.7	1.6	0.9	1.4	2.5	0.3	0.2
腎およびその他の泌尿器	1.0	0.3	-	-	0.2	0.3	1.4	2.8	4.4	6.6	16.6	20.0	30.7	39.7	41.2	57.9	49.2	52.0	10.7	7.1
膀胱	-	-	-	-	0.4	0.3	1.6	2.8	5.3	6.2	13.0	14.8	32.6	43.9	71.9	97.9	126.5	143.6	13.9	8.6
眼	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-	-	0.6	1.1	0.5	1.7	-	2.5	0.3	0.4
脳およびその他の神経系	2.1	1.8	1.8	2.4	0.6	1.3	3.5	2.8	0.9	2.3	3.9	5.2	6.8	7.7	4.8	10.2	4.2	5.0	3.1	2.7
甲状腺	-	-	-	0.2	0.6	-	1.1	1.3	2.2	3.8	3.3	3.9	6.2	4.6	6.9	7.7	1.4	7.4	2.2	1.5
その他の内分泌腺	5.5	0.6	0.8	1.1	0.2	0.3	0.3	-	-	-	0.6	0.3	0.6	0.7	2.6	3.4	-	2.5	0.8	1.1
ホジキン病	-	0.6	-	-	0.4	1.1	0.3	0.3	0.2	1.1	1.1	0.3	0.9	1.1	2.6	1.7	1.4	-	0.6	0.5
非ホジキンﾘﾝﾊﾟ腫	1.0	1.5	1.3	2.4	1.2	1.3	2.5	4.4	5.6	6.6	9.9	14.2	21.4	24.2	37.5	43.4	53.4	44.6	9.0	6.3
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.4	1.5	2.8	3.3	5.0	9.8	16.4	21.3	19.7	34.7	2.8	1.7
ﾘﾝﾊﾟ性白血病	4.2	2.1	3.1	1.5	0.6	0.8	1.1	0.8	0.4	1.7	1.4	1.8	3.4	3.9	3.7	5.1	11.2	2.5	2.0	2.1
骨髄性白血病	-	2.1	0.8	1.9	1.0	0.8	1.9	0.8	4.0	3.0	4.4	8.5	6.2	12.6	16.9	17.9	23.9	22.3	4.3	3.1
単球性白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	-	-	-	2.5	0.1	0.0
その他の白血病	-	-	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	1.1	0.9	-	2.5	0.1	0.1
細胞形態不明の白血病	0.3	-	-	-	-	-	-	1.0	-	0.2	0.6	1.2	-	1.1	1.6	2.6	8.4	9.9	0.5	0.4
他および部位不明	2.4	-	0.8	0.6	0.6	0.5	1.4	3.1	4.0	4.7	6.3	13.6	18.0	30.5	51.8	72.3	71.7	133.7	10.1	6.6
全部位	23.2	11.7	12.1	15.4	11.8	20.2	40.9	66.8	123.9	231.7	430.5	696.7	1,188.7	1,713.1	2,291.4	2,778.4	3,077.1	3,270.2	455.9	290.5

罹患率は人口10万対、年齢調整罹患率は世界人口を基準とする

付表2 平成5～9年における各部位の年齢階級別罹患率、粗罹患率および年齢調整罹患率･女性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-59	80-84	85+	粗罹患率	年齢調整罹患
口唇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.3	-	1.7	0.8	2.3	0.1	0.1
舌	-	-	-	-	0.2	1.1	0.5	1.0	0.7	1.8	1.1	0.3	2.8	1.8	0.8	2.8	3.1	11.3	1.1	0.7
口腔	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.9	0.8	0.6	2.5	1.2	2.3	4.4	6.3	7.9	0.9	0.5
唾液腺	-	-	-	0.2	-	-	0.3	0.3	0.5	0.4	0.3	1.1	0.8	0.6	1.2	1.7	0.8	-	0.4	0.3
中咽頭	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	0.2	-	0.3	0.6	1.2	0.4	-	-	-	0.2	0.1
鼻咽頭	-	-	0.3	0.2	0.2	0.3	-	-	0.7	-	-	0.8	1.4	0.9	0.8	0.6	0.8	2.3	0.4	0.3
下咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.3	0.3	0.8	1.8	-	1.1	-	1.1	0.3	0.1
その他および不明の口腔･咽頭	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	-	0.3	-	-	0.8	-	0.1	0.0
食道	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	2.0	3.6	6.7	6.6	14.6	17.3	26.0	29.1	40.6	4.8	2.2
胃	0.7	-	-	-	0.7	3.5	9.6	16.4	30.4	36.9	44.7	62.3	83.0	128.1	178.9	255.1	273.4	328.2	52.1	27.0
小腸	-	-	-	-	-	-	-	0.3	1.4	0.4	0.3	0.6	0.8	2.4	0.4	3.9	4.7	5.6	0.7	0.4
結腸	-	-	-	0.2	0.4	0.5	3.3	4.2	11.5	18.1	36.7	58.7	83.3	103.7	144.6	173.8	194.1	203.0	38.3	19.6
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	-	-	-	0.2	-	1.1	1.9	2.9	5.9	13.9	21.9	29.5	42.3	48.5	59.2	80.8	84.8	78.9	18.3	9.8
肝および肝内胆管	0.7	-	0.3	0.2	-	-	0.5	0.3	1.4	1.5	3.3	13.2	25.7	33.3	55.0	56.5	70.7	67.7	11.4	5.4
胆嚢	-	-	-	-	-	0.3	0.5	0.5	1.4	3.1	8.1	14.6	16.6	24.7	53.1	75.3	124.9	146.6	13.7	5.9
膵臓	-	-	-	-	-	-	0.8	0.5	0.9	2.2	6.7	14.0	18.3	26.5	52.3	71.4	98.2	103.7	12.3	5.5
鼻腔、中耳および副鼻腔	-	-	-	-	0.2	-	-	-	0.7	0.7	0.8	0.8	2.8	2.1	1.9	3.9	5.5	7.9	0.9	0.5
喉頭	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	0.8	0.6	0.3	2.3	2.2	1.6	1.1	0.3	0.2
気管、気管支および肺	-	-	-	-	0.2	0.5	1.4	2.6	5.2	13.9	14.7	22.5	47.3	68.9	85.0	126.2	149.3	161.3	23.9	11.6
胸腺および胸腔内臓器	0.4	-	-	0.2	0.2	-	-	0.5	0.7	0.2	0.8	0.3	0.6	0.6	0.8	1.1	3.1	1.1	0.4	0.3
骨	0.4	-	0.5	1.6	0.4	0.5	0.3	1.0	0.2	-	1.1	0.3	0.6	0.9	1.9	-	1.6	2.3	0.7	0.6
皮膚の黒色腫	-	-	-	-	0.2	-	-	-	0.5	0.9	0.8	0.6	0.3	1.5	0.8	1.7	1.6	4.5	0.5	0.3
皮膚その他	-	-	-	-	-	-	0.8	0.8	0.5	0.4	2.2	2.0	4.4	9.5	9.6	18.8	36.1	50.7	3.8	1.6
中皮腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.3	0.9	0.4	-	1.6	1.1	0.2	0.1
カポジ肉腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
結合組織、他軟部組織	1.1	-	0.3	0.7	-	1.1	0.3	1.0	0.9	1.8	0.8	0.8	2.2	3.1	2.3	1.7	1.6	3.4	1.1	0.9
乳房	-	-	-	0.2	1.3	5.4	16.7	39.3	78.7	119.6	93.6	87.6	83.8	87.3	87.7	65.9	60.5	47.4	47.9	32.9
外陰、膣、他女性性器	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	0.7	0.3	2.2	2.5	2.4	2.3	5.5	3.1	6.8	0.9	0.5
子宮頚部	-	-	-	-	-	1.9	12.9	9.6	14.9	13.0	13.6	13.5	10.2	12.5	16.9	19.4	14.1	9.0	8.4	5.8
子宮体部	-	-	-	-	-	0.3	2.2	3.4	4.7	10.2	13.1	19.1	15.2	12.8	15.4	8.9	7.1	12.4	6.4	4.2
子宮部位不明	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.9	1.4	0.3	1.9	1.2	2.3	1.7	9.4	39.5	1.3	0.6
卵巣	-	0.3	0.3	2.4	2.7	2.7	3.0	7.3	9.9	19.9	20.8	19.6	18.5	18.0	14.6	23.2	22.8	32.7	10.4	7.0
胎盤	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
腎およびその他の泌尿器	0.7	0.3	-	-	0.2	0.3	0.5	0.3	2.9	3.3	5.3	6.7	12.4	14.3	19.2	30.4	26.7	25.9	5.6	3.0
膀胱	-	-	-	-	0.4	-	0.3	0.8	1.6	1.1	2.2	6.2	9.7	10.1	15.0	25.5	40.9	37.2	4.8	2.3
眼	1.4	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.2	-	-	0.8	0.3	-	0.6	-	1.1	0.2	0.3
脳およびその他の神経系	0.7	1.9	0.5	1.2	1.3	1.3	1.1	1.6	2.9	2.4	2.8	2.2	5.0	2.7	5.0	9.4	5.5	2.3	2.4	1.9
甲状腺	-	-	-	1.6	2.7	4.8	8.8	13.5	18.9	21.2	24.4	29.8	24.6	24.4	15.8	14.9	16.5	13.5	12.9	9.2
その他の内分泌腺	3.3	0.3	-	0.2	0.2	-	-	0.3	-	0.7	0.6	0.3	0.8	0.9	1.2	0.6	1.6	1.1	0.5	0.7
ホジキン病	-	-	0.3	0.2	0.2	0.5	0.3	-	-	-	-	0.6	0.3	-	1.2	-	0.8	1.1	0.2	0.2
非ホジキンﾘﾝﾊﾟ腫	0.4	0.3	0.3	0.9	1.3	0.3	1.4	1.3	3.4	5.5	5.3	7.0	13.0	19.8	22.7	33.8	27.5	28.2	6.8	3.7
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.9	1.7	2.5	6.9	7.6	10.8	13.8	19.6	13.5	2.7	1.3
ﾘﾝﾊﾟ性白血病	4.3	1.6	1.9	0.9	0.7	0.5	0.5	-	0.2	0.9	1.1	3.4	1.4	3.4	4.2	3.3	3.9	3.4	1.6	1.6
骨髄性白血病	0.4	0.3	1.3	0.5	1.3	0.8	1.4	1.6	2.0	1.8	1.1	3.9	4.1	5.5	7.3	10.0	7.9	15.8	2.7	1.7
単球性白血病	-	-	-	-	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	0.1	0.0
その他の白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	-	-	-	0.3	0.4	1.1	0.8	-	0.1	0.1
細胞形態不明の白血病	0.4	-	0.5	-	0.2	0.3	-	-	0.2	0.2	0.3	0.6	0.6	0.9	1.2	1.7	3.9	5.6	0.5	0.3
他および部位不明	0.4	0.6	-	0.7	0.4	0.8	0.5	1.3	4.5	4.0	6.7	10.9	10.8	17.1	20.8	38.2	63.6	80.1	8.3	4.1
全部位	15.2	5.7	6.4	12.9	16.0	29.3	69.8	113.4	210.3	306.5	343.5	447.4	567.4	720.0	935.1	1,218.2	1,430.6	1,609.2	311.7	175.2

付表3　年齢調整罹患率の推移（人口10万対、世界人口を基準とする）

部　位	性	昭34-36	昭37-39	昭40-42	昭43-47	昭48-52	昭53-57	昭58-62	昭63-平4	平5-9
全部位	男	193.2	194.2	192.1	192.8	208.9	231.0	255.0	277.2	290.5
	女	153.2	141.2	153.4	131.8	139.0	151.6	162.9	171.3	175.2
口唇、口腔および咽頭	男	3.3	3.0	2.2	2.7	2.7 [1]	4.2	5.0	5.4	5.9
	女	1.5	1.7	1.4	1.2	1.2 [1]	1.6	1.9	2.1	2.0
（再掲）舌	男	1.1	1.0	0.4	0.9	0.9	1.3	1.6	1.6	1.6
	女	0.7	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.7
食道	男	14.3	14.5	12.7	13.2	13.8	13.9	14.1	13.9	14.3
	女	5.7	4.9	4.0	4.3	3.2	3.1	2.4	2.2	2.2
胃	男	95.4	95.3	91.2	86.9	88.0	83.5	85.4	83.1	68.9
	女	47.2	44.7	43.9	40.9	42.0	36.9	36.7	33.3	27.0
小腸、十二指腸を含む	男	0.3	0.2	0.5	0.4	0.6	0.4	0.6	0.6	0.6
	女	0.3	0.5	0.4	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4
結腸	男	3.9	4.1	4.7	5.5	8.3	11.0	17.1	24.8	34.5
	女	4.1	4.0	4.9	5.6	7.3	10.0	13.2	15.7	19.6
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	男	5.3	4.8	7.0	6.9	9.2	10.9	12.8	16.6	20.7
	女	4.9	5.0	5.0	5.3	6.5	8.1	8.6	9.0	9.8
肝および肝内胆管	男	1.0 [2]	1.2 [2]	1.5 [2]	1.9 [2]	2.5 [2]	11.7	13.6	15.3	16.9
	女	0.3 [2]	0.8 [2]	0.4 [2]	0.7 [2]	0.9 [2]	4.1	4.4	5.4	5.4
胆嚢および肝外胆管	男	5.1	5.4	5.1	5.7	5.9	6.4	7.2	7.8	8.1
	女	4.8	5.3	5.3	4.8	5.5	5.7	7.1	6.8	5.9
膵	男	5.2	6.7	6.4	7.2	7.4	8.9	10.5	10.9	10.2
	女	3.9	3.8	4.5	4.5	4.2	5.3	6.1	5.5	5.5
鼻腔、中耳および副鼻腔	男	3.0	3.4	2.7	2.5	2.1	1.9	1.6	1.4	1.1
	女	2.1	1.9	1.6	1.3	0.8	0.8	0.8	0.7	0.5
喉頭	男	2.8	2.4	2.7	2.1	2.2	2.7	3.5	3.4	3.8
	女	0.5	0.3	0.5	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
気管、気管支および肺	男	14.9	15.6	17.9	21.5	25.5	31.3	36.6	39.4	41.7
	女	5.4	5.9	6.7	7.2	7.2	9.3	11.0	10.3	11.6
皮膚	男	2.4	1.8	1.6	1.8	1.8	2.4	2.3	3.2	3.0
	女	1.2	1.6	2.0	1.5	1.3	1.5	1.9	2.0	1.9
乳房	男	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2
	女	12.6	11.0	13.9	13.9	17.5	22.9	27.8	31.1	32.9
子宮	女	34.2	27.1	32.1	17.2	17.0	13.2	10.2	11.1	10.5
（再掲）子宮頚	女	24.5	20.6	25.4	12.9	12.1	9.1	6.2	6.4	5.8
（再掲）子宮体	女	2.0	1.3	1.2	1.2	2.0	2.9	3.2	4.1	4.2
卵巣	女	2.3	1.9	2.9	2.9	3.4	4.5	5.1	6.2	7.0 [3]
前立腺	男	3.7	3.2	3.4	3.4	4.9	6.9	7.8	9.0	12.7
睾丸	男	0.7	0.4	0.8	0.8	0.8	1.1	1.3	1.6	1.7
陰茎およびその他の男性生殖器	男	0.7	0.4	0.5	0.4	0.4 [4]	0.6	0.4	0.5	0.4
腎ならびにその他および部位不明の泌尿器	男	0.8 [5]	1.8 [5]	1.2 [5]	1.7	2.6	3.5	5.0	6.4	7.1
	女	0.7 [5]	0.7 [5]	0.8 [5]	1.1	1.1	1.8	2.2	2.4	3.0
膀胱	男	3.7 [6]	5.0 [6]	4.8 [6]	3.9	5.3	7.0	7.8	9.0	8.6
	女	1.9 [6]	1.7 [6]	2.2 [6]	1.3	1.6	2.1	2.3	2.5	2.3
脳およびその他の神経系	男	0.4	1.1	1.0	1.1	0.9	2.4	2.3	2.5	2.7
	女	0.6	0.8	1.0	1.0	0.8	1.9	1.8	1.9	1.9
甲状腺	男	0.9	0.8	1.0	0.7	1.0	1.1	1.4	1.5	1.5
	女	2.9	2.0	3.2	2.3	2.7	4.3	5.8	9.0	9.2
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	男	0.3	0.2	0.6	0.7	1.1	1.6	1.5	1.5	1.7
	女	0.2	0.4	0.3	0.5	0.7	1.3	1.2	1.4	1.3
白血病	男	3.7	4.4	4.2	4.6	4.6	5.6	5.6	5.8	5.7
	女	2.7	2.7	3.7	3.6	3.9	4.3	3.7	3.3	3.8
（再掲）リンパ性白血病	男	-	-	-	0.6	0.6	1.3	1.3	2.0	2.1
	女	-	-	-	0.3	0.7	1.4	1.1	1.2	1.6
（再掲）骨髄性白血病	男	-	-	-	2.3	2.6	2.7	3.1	2.9	3.1
	女	-	-	-	2.0	1.9	1.9	2.0	1.5	1.7

注 1）部位不明の口腔を除く
2）原発性と明示されたもののみ
3）卵巣のみ
4）陰茎のみ
5）腎のみ
6）「腎以外のその他の泌尿器」を含む

付表4　平成5〜9年における市区町村別、主要部位別がん罹患数（5年間）及び標準化罹患比

	全部位		食道		胃		結腸		直腸	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
宮城県（合計）	44,548	100	1,593	100	9,326	100	5,365	100	2,913	100
仙台市	15,780	103.5 ++	561	105.1	3,066	96.9	2,037	112.4 ++	1,071	106.8 +
青葉区	4,733	104.1 ++	189	118.5 +	882	93.4 -	644	118.6 ++	295	99.6
宮城野区	2,859	108.8 ++	100	109.8	575	105.7	371	119.0 ++	221	127.6 ++
若林区	2,264	109.5 ++	92	126.3 +	440	102.3	315	127.7 ++	174	127.7 ++
太白区	3,425	98.0	108	87.1	656	90.2 --	393	94.3	219	95.4
泉区	2,499	99.4	72	83.2	513	99.0	314	106.4	162	96.7
石巻市	2,468	104.0	86	100.9	523	105.4	285	98.9	156	99.2
塩釜市	1,469	113.1 ++	51	107.6	305	111.9	198	125.2 ++	107	124.3 +
古川市	1,198	93.2 -	51	112.0	251	93.5	172	111.2	76	90.6
気仙沼市	1,472	105.8 +	52	102.1	288	98.2	185	108.5	97	104.6
白石市	973	98.0	36	99.7	211	100.7	115	95.6	52	81.2
名取市	1,140	105.9	31	80.9	235	104.5	164	126.9 ++	68	95.7
角田市	780	94.9	27	90.9	177	102.1	78	78.6 -	52	98.7
多賀城市	965	106.0	29	90.6	208	110.0	111	102.5	62	102.2
岩沼市	731	99.2	22	84.3	164	106.5	81	91.8	29	60.3 --
蔵王町	319	93.6	5	40.2 -	69	95.7	34	82.1	30	136.9
七ヶ宿町	62	81.6	2	68.5	15	92.2	4	42.9	4	82.9
大河原町	425	98.2	14	90.0	88	96.9	43	82.5	23	81.4
村田町	282	89.7	8	70.2	64	96.3	26	68.3	21	103.7
柴田町	777	109.4 +	27	106.5	180	121.1 +	98	114.9	41	88.0
川崎町	217	84.1 -	13	138.4	49	89.7	27	86.1	17	102.4
丸森町	404	75.5 --	10	50.6 -	96	84.5	39	60.2 --	18	53.0 --
亘理町	804	116.4 ++	20	80.4	158	108.9	81	97.1	43	95.5
山元町	405	87.7 --	15	89.1	74	75.8 -	47	84.1	31	104.1
松島町	414	106.1	15	105.1	102	124.1 +	60	126.4	34	133.3
七ヶ浜町	389	108.9	10	79.3	97	130.0 +	40	93.0	31	130.8
利府町	385	105.5	20	159.8 +	86	113.9	49	113.8	24	99.7
大和町	402	87.0 --	18	108.4	89	91.5	52	93.6	28	94.0
大郷町	202	81.4 --	13	143.9	46	87.7	20	66.6	14	88.1
富谷町	439	108.5	13	94.5	93	111.3	71	150.0 ++	32	117.9
大衡村	93	70.9 --	5	106.9	22	79.8	7	44.5 -	4	47.8
中新田町	341	102.2	10	82.1	97	137.8 ++	43	105.8	26	119.7
小野田町	201	88.9	5	60.0	46	95.9	33	119.9	25	171.2 ++
宮崎町	155	85.1 -	3	45.2	41	106.2	23	104.0	12	103.2
色麻町	211	104.7	4	54.1	56	131.4 +	25	102.5	11	84.8
松山町	154	92.8	4	66.4	38	108.7	12	59.4	10	92.9
三本木町	178	97.5	6	91.0	39	101.5	22	99.3	11	92.2
鹿島台町	291	90.0	6	51.5	77	113.3	36	91.4	22	104.5
岩出山町	363	91.3	17	116.5	93	110.5	39	80.2	10	38.9 --
鳴子町	274	98.4	16	156.3	64	108.8	26	76.0	17	93.9
涌谷町	460	99.6	11	66.0	97	99.8	44	78.1	32	106.3
田尻町	346	101.4	14	113.6	74	102.8	41	98.7	24	109.0
小牛田町	447	95.4	22	128.7	99	100.4	58	101.9	23	75.3
南郷町	179	95.5	7	103.5	32	80.9	18	78.4	11	90.8

標準化罹患比は宮城県合計を100とし、罹患比算出のための期待値は平成5〜9年の宮城県合計の性別、
年齢階級別罹患率及び平成7年国勢調査による各市区町村の性別、年齢階級別人口に基づいて計算された。
++ 危険率1%で有意　　+ 危険率5%で有意　　-- 危険率1%で有意　　- 危険率5%で有意

付表4　(続き)

	全部位		食道		胃		結腸		直腸	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
築館町	403	103.1	16	113	96	116.6	63	131.7 +	25	98.1
若柳町	369	88.8 -	8	52.5	91	103.6	55	108.1	25	93.4
栗駒町	324	76.4 - -	21	134.3	71	79.0	24	46.2 - -	12	43.9 - -
高清水町	114	103.9	5	125.4	32	138.4	14	104.5	9	125.8
一迫町	262	93.7	14	135.9	58	97.8	26	75.9	18	99.7
瀬峰町	182	127.0 + +	6	115.9	37	122.5	20	114.5	12	129.4
鶯沢町	93	88.9	4	103.4	17	76.6	12	93.7	8	119.1
金成町	164	70.8 - -	3	35.1	30	61.2 - -	21	74.1	11	73.4
志波姫町	190	94.6	6	82.1	36	84.7	18	73.6	11	85.3
花山村	54	95.8	2	95.3	16	133.4	5	72.1	3	82.9
迫町	537	103.1	21	110.8	112	102.0	59	93.6	47	139.6 +
登米町	154	83.7 -	10	150.9	25	64.4 -	13	57.8	11	94.0
東和町	236	89.2	12	122.9	43	76.7	15	46.2 - -	8	47.1 -
中田町	365	83.2 - -	23	143.2	77	83.0	47	87.8	24	85.1
豊里町	145	76.9 - -	4	59	25	62.9 -	14	61.0	8	66.0
米山町	257	87.2 -	7	65.7	64	102.8	27	75.0	17	89.3
石越町	170	99.3	5	79.4	50	138.2 +	9	43.2 -	12	108.6
南方町	243	102.9	14	163.4	64	128.4	23	79.9	20	131.5
河北町	356	98.3	12	90.9	85	110.9	37	83.9	28	120.2
矢本町	523	94.0	20	100.8	107	91.9	50	74.8 -	29	79.0
雄勝町	209	124.5 + +	8	129.9	55	154.7 + +	13	62.9	11	101.0
河南町	427	94.3	16	96.3	102	106.5	27	49.0 - -	24	81.9
桃生町	186	84.5 -	5	62.7	36	77.5	24	89.3	13	91.1
鳴瀬町	301	107.7	7	69.1	59	100.2	38	112.0	15	82.8
北上町	119	95.3	6	130.5	23	86.7	8	52.6	6	74.9
女川町	317	100.1	12	102.6	56	83.4	38	97.4	20	95.2
牡鹿町	196	105.9	3	43.1	31	78.6	22	96.8	17	142.0
志津川町	322	90.8	10	77.6	79	105.5	32	74.0	19	82.6
津山町	99	76.2 - -	6	129	22	80.2	5	31.6 - -	7	84.8
本吉町	305	98.2	16	142.6	62	94.6	33	86.9	16	79.5
唐桑町	204	87.8	8	94.2	35	71.3	17	59.7 -	15	98.9
歌津町	127	96.2	4	84.3	21	75.5	12	74.8	13	152.6

付表4 （続き）

	肝		胆嚢、胆管		膵		肺		女性乳房	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
宮城県（合計）	2,196	100	1,581	100	1,671	100	5,388	100	2,833	100
仙台市	756	102.9	486	95.3	551	100.7	1,808	102.1	1,206	111.8 ++
青葉区	221	100.3	163	102.7	162	96.4	554	102.6	347	113.8 +
宮城野区	168	133.1 ++	91	104.9	106	113.3	283	94.1	202	107.1
若林区	84	83.7	66	94.7	76	101.7	254	105.3	165	116.3
太白区	160	94.3	93	79.2 -	117	92.9	448	108.7	253	105.2
泉区	123	103.9	73	94.7	90	106.1	269	97.5	239	117.7 +
石巻市	149	126.6 ++	75	90.7	79	89.6	314	111.4	178	113.7
塩釜市	72	110.8	43	95.6	66	137.0 +	179	114.3	90	107.7
古川市	57	90.2	38	84.0	39	81.4	143	92.6	68	81.6
気仙沼市	52	74.1 -	44	89.6	53	101.3	153	91.4	114	130.3 ++
白石市	37	74.4	51	135.8 +	33	84.5	110	87.2	57	103.3
名取市	51	96.6	36	97.7	41	104.1	115	90.9	72	100.1
角田市	35	85.4	30	94.7	29	88.9	89	85.2	41	90.8
多賀城市	38	86.4	42	144.1 +	28	87.9	128	123.8 +	72	108.2
岩沼市	37	102.9	28	107.4	31	112.9	95	107.7	45	93.6
蔵王町	12	70.1	16	122.1	11	81.1	50	114.5	9	49.6 -
七ヶ宿町	1	25.3	4	129.3	2	63.2	10	97.3	1	31.2
大河原町	19	88.9	16	103.6	22	135.1	61	115.4	25	92.4
村田町	9	57.1	12	99.9	12	96.3	47	118.1	8	47.1 -
柴田町	39	112.0	21	84.5	35	132.8	79	92.5	63	135.8 +
川崎町	6	46.3	11	111.3	6	58.7	25	75.9	11	79.0
丸森町	17	62.9	28	132.1	15	69.2	76	107.4	13	50.0 -
亘理町	82	239.4 ++	25	99.5	36	136.6	90	106.0	58	136.8 +
山元町	17	73.7	18	102.1	20	109.8	54	92.0	22	86.3
松島町	20	102.3	8	56.4	17	113.9	55	113.7	16	68.5
七ヶ浜町	15	85.6	12	98.5	12	92.0	46	110.8	28	115.0
利府町	14	80.6	12	103.4	10	78.9	41	99.7	33	118.6
大和町	14	61.0	10	57.8	20	111.6	53	92.2	13	49.8 -
大郷町	8	64.3	12	126.6	10	102.0	36	112.5	7	52.5
富谷町	20	106.0	12	98.4	14	104.0	39	89.6	36	105.6
大衡村	2	30.8	6	120.0	6	116.1	14	84.3	2	27.0
中新田町	18	107.0	10	80.6	14	108.0	43	102.8	16	83.8
小野田町	4	35.0 -	7	81.2	8	89.1	19	65.1	7	58.7
宮崎町	6	65.0	10	139.5	6	81.1	18	75.9	6	65.5
色麻町	5	49.3	13	171.2	3	37.9	34	131.5	7	64.0
松山町	4	48.0	10	161.8	3	46.5	22	105.0	9	94.4
三本木町	4	43.8	6	90.2	6	85.7	22	97.9	9	81.9
鹿島台町	10	62.0	11	90.8	8	63.6	25	62.5 -	21	109.4
岩出山町	21	104.1	8	52.6	19	120.5	39	76.4	18	84.7
鳴子町	31	218.7 ++	9	85.8	12	109.5	34	96.2	8	51.7
涌谷町	58	249.8 ++	16	94.1	19	106.5	62	108.2	19	69.6
田尻町	16	93.2	11	85.0	9	66.6	51	117.4	11	58.4
小牛田町	17	72.7	17	99.6	29	161.9 +	50	85.5	24	85.5
南郷町	11	115.9	17	235.2 ++	5	66.9	22	93.2	11	106.9

付表4 （続き）

	肝		胆嚢、胆管		膵		肺		女性乳房	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
築館町	20	101.6	15	102.9	9	59.1	47	96.4	16	70.4
若柳町	13	61.7	23	142.5	19	114.2	34	63.6 - -	9	41.1 - -
栗駒町	9	41.7 - -	11	66.4	23	135.0	38	69.5 -	9	40.6 - -
高清水町	7	126.9	5	123.5	6	141.2	11	79.5	3	47.0
一迫町	14	98.1	4	37.2	12	107.4	37	102.3	6	40.9 -
瀬峰町	33	459.9 + +	7	128.3	2	35.3	26	143.5	7	85.8
鶯沢町	3	56.5	2	48.2	4	93.9	18	132.0	2	38.0
金成町	10	85.1	12	136.5	13	142.1	24	80.6	6	48.4
志波姫町	6	59.3	10	127.7	5	62.1	27	104.7	10	93.5
花山村	2	69.1	2	89.3	1	43.5	9	119.9	1	37.8
迫町	35	134.3	21	109.4	21	104.3	59	89.7	26	87.0
登米町	13	140.4	3	39.6	4	52.5	19	80.1	8	86.1
東和町	3	22.3 - -	11	105.8	14	131.3	38	110.3	15	111.8
中田町	10	45.1 -	19	112.8	11	63.1	48	84.8	19	81.4
豊里町	8	84.6	11	151.4	11	146.9	19	79.7	5	48.0
米山町	14	94.0	11	97.0	10	85.1	33	88.6	6	37.1 -
石越町	8	92.4	8	122.9	2	29.5	26	118.0	5	54.2
南方町	14	117.9	9	99.4	6	64.2	27	90.1	12	92.6
河北町	13	71.3	17	121.7	14	96.9	33	70.8	23	119.3
矢本町	24	87.9	12	62.6	19	92.7	88	132.8 + +	33	89.3
雄勝町	32	375.5 + +	5	75.9	4	59.2	21	98.2	7	78.0
河南町	22	96.4	18	105.1	19	106.7	66	114.4	27	108.6
桃生町	2	18.1 -	17	200.9 + +	10	114.5	26	93.9	10	81.4
鳴瀬町	18	128.8	7	66.8	17	155.8	44	125.3	16	99.6
北上町	5	79.3	8	165.1	7	140.0	19	117.3	5	77.9
女川町	12	74.3	16	138.3	13	106.3	47	120.2	21	115.2
牡鹿町	10	105.2	5	69.0	7	93.4	34	139.5	8	89.5
志津川町	9	50.4 -	17	126.5	8	57.2	38	85.0	23	116.3
津山町	7	107.2	5	93.7	7	129.9	13	77.9	4	61.1
本吉町	17	108.7	13	107.8	15	120.9	39	100.5	17	98.0
唐桑町	14	119.4	7	79.3	11	120.5	20	69.0	11	83.0
歌津町	5	75.5	9	178.5	8	153.2	9	54.5	9	122.9

付表4 （続き）

	子宮			前立腺		
	数	比		数	比	
宮城県（合計）	951	100		1,269	100	
仙台市	366	103.4		471	117.1	＋＋
青葉区	101	99.2		181	143.2	＋＋
宮城野区	63	100.9		61	90.9	
若林区	57	121.2		69	126.3	
太白区	90	114.0		101	105.6	
泉区	55	86.5		59	100.9	
石巻市	64	122.9		40	62.6	－－
塩釜市	32	115.3		35	97.8	
古川市	27	96.2		35	97.9	
気仙沼市	43	146.2	＋	46	121.0	
白石市	24	125.2		34	107.4	
名取市	26	108.4		71	246.3	＋＋
角田市	18	113.7		24	91.3	
多賀城市	19	88.6		20	87.4	
岩沼市	15	93.6		24	116.2	
蔵王町	8	125.4		12	108.7	
七ヶ宿町	0	0.0		5	182.7	
大河原町	13	143.7		7	55.7	
村田町	8	134.6		5	49.4	
柴田町	25	164.3	＋	19	95.9	
川崎町	5	102.8		6	73.4	
丸森町	10	107.1		10	53.0	
亘理町	10	70.3		21	104.2	
山元町	11	125.1		9	60.4	
松島町	5	62.9		8	69.0	
七ヶ浜町	10	124.0		4	43.3	
利府町	4	44.5		7	79.1	
大和町	5	54.4		15	106.0	
大郷町	2	43.1		3	36.8	
富谷町	9	85.9		12	136.4	
大衡村	1	39.0		1	23.4	
中新田町	6	91.5		7	69.3	
小野田町	4	96.5		7	94.8	
宮崎町	5	152.4		4	64.6	
色麻町	1	26.3		4	62.1	
松山町	3	92.1		4	78.8	
三本木町	7	188.7		2	38.1	
鹿島台町	4	60.4		9	95.7	
岩出山町	6	80.5		10	78.4	
鳴子町	4	74.3		5	57.7	
涌谷町	4	43.1		20	145.0	
田尻町	5	77.2		6	54.5	
小牛田町	9	95.2		15	107.4	
南郷町	4	109.7		6	104.5	

付表4 （続き）

	子宮			前立腺		
	数	比		数	比	
築館町	5	64.1		7	60.9	
若柳町	11	140.9		8	60.2	
栗駒町	7	88.8		14	103.2	
高清水町	1	46.4		1	30.1	
一迫町	3	58.7		11	120.0	
瀬峰町	1	35.6		5	113.9	
鶯沢町	0	0.0		6	173.8	
金成町	5	115.3		2	27.2	
志波姫町	1	26.5		6	92.8	
花山村	1	105.4		3	153.8	
迫町	13	126.3		20	122.6	
登米町	0	0.0	-	10	168.8	
東和町	3	62.5		12	140.0	
中田町	6	73.3		15	106.4	
豊里町	2	54.3		7	120.0	
米山町	5	88.2		6	65.6	
石越町	0	0.0	-	7	126.3	
南方町	4	88.1		7	95.0	
河北町	8	117.7		5	42.8	
矢本町	12	98.5		6	39.4	-
雄勝町	2	62.5		3	58.6	
河南町	9	104.1		9	63.1	
桃生町	4	92.8		1	14.9	-
鳴瀬町	5	91.0		2	23.2	-
北上町	0	0.0		2	47.9	
女川町	5	80.1		8	88.1	
牡鹿町	4	126.0		4	63.8	
志津川町	6	86.9		10	91.0	
津山町	0	0.0		2	47.2	
本吉町	4	64.9		13	139.7	
唐桑町	0	0.0	- -	11	163.8	
歌津町	2	76.1		3	73.3	

付表5 平成5～9年における市区町村別、主要部位別検診発見がん罹患数（5年間）及び割合

	胃			結腸			直腸		
	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%
宮城県（合計）	9,326	2,278	24.4	5,365	1,222	22.8	2,913	562	19.3
仙台市	3,066	809	26.4	2,037	362	17.8	1,071	151	14.1
青葉区	882	225	25.5	644	98	15.2	295	42	14.2
宮城野区	575	149	25.9	371	88	23.7	221	37	16.7
若林区	440	112	25.5	315	45	14.3	174	20	11.5
太白区	656	164	25.0	393	65	16.5	219	27	12.3
泉区	513	159	31.0	314	66	21.0	162	25	15.4
石巻市	523	112	21.4	285	50	17.5	156	20	12.8
塩釜市	305	54	17.7	198	42	21.2	107	16	15.0
古川市	251	73	29.1	172	66	38.4	76	27	35.5
気仙沼市	288	47	16.3	185	18	9.7	97	10	10.3
白石市	211	54	25.6	115	12	10.4	52	3	5.8
名取市	235	44	18.7	164	16	9.8	68	5	7.4
角田市	177	32	18.1	78	11	14.1	52	9	17.3
多賀城市	208	53	25.5	111	22	19.8	62	12	19.4
岩沼市	164	37	22.6	81	20	24.7	29	3	10.3
蔵王町	69	6	8.7	34	10	29.4	30	6	20.0
七ヶ宿町	15	6	40.0	4	1	25.0	4	1	25.0
大河原町	88	16	18.2	43	10	23.3	23	6	26.1
村田町	64	7	10.9	26	1	3.8	21	1	4.8
柴田町	180	31	17.2	98	29	29.6	41	10	24.4
川崎町	49	13	26.5	27	5	18.5	17	4	23.5
丸森町	96	16	16.7	39	3	7.7	18	2	11.1
亘理町	158	29	18.4	81	31	38.3	43	13	30.2
山元町	74	14	18.9	47	19	40.4	31	9	29.0
松島町	102	23	22.5	60	16	26.7	34	7	20.6
七ヶ浜町	97	22	22.7	40	12	30.0	31	5	16.1
利府町	86	20	23.3	49	11	22.4	24	3	12.5
大和町	89	28	31.5	52	23	44.2	28	6	21.4
大郷町	46	7	15.2	20	0	0.0	14	3	21.4
富谷町	93	35	37.6	71	29	40.8	32	12	37.5
大衡村	22	2	9.1	7	2	28.6	4	0	0.0
中新田町	97	25	25.8	43	14	32.6	26	11	42.3
小野田町	46	12	26.1	33	13	39.4	25	6	24.0
宮崎町	41	8	19.5	23	10	43.5	12	4	33.3
色麻町	56	17	30.4	25	3	12.0	11	3	27.3
松山町	38	10	26.3	12	3	25.0	10	3	30.0
三本木町	39	14	35.9	22	8	36.4	11	1	9.1
鹿島台町	77	16	20.8	36	8	22.2	22	5	22.7
岩出山町	93	16	17.2	39	4	10.3	10	1	10.0
鳴子町	64	14	21.9	26	12	46.2	17	7	41.2
涌谷町	97	24	24.7	44	7	15.9	32	10	31.3
田尻町	74	29	39.2	41	18	43.9	24	10	41.7
小牛田町	99	14	14.1	58	25	43.1	23	6	26.1
南郷町	32	5	15.6	18	6	33.3	11	4	36.4

付表5 （続き）

	胃			結腸			直腸		
	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%
築館町	96	35	36.5	63	29	46.0	25	7	28.0
若柳町	91	23	25.3	55	20	36.4	25	6	24.0
栗駒町	71	16	22.5	24	1	4.2	12	3	25.0
高清水町	32	15	46.9	14	7	50.0	9	5	55.6
一迫町	58	18	31.0	26	6	23.1	18	5	27.8
瀬峰町	37	8	21.6	20	7	35.0	12	3	25.0
鶯沢町	17	2	11.8	12	5	41.7	8	5	62.5
金成町	30	8	26.7	21	8	38.1	11	6	54.5
志波姫町	36	11	30.6	18	5	27.8	11	5	45.5
花山村	16	5	31.3	5	3	60.0	3	0	0.0
迫町	112	43	38.4	59	26	44.1	47	14	29.8
登米町	25	7	28.0	13	5	38.5	11	3	27.3
東和町	43	19	44.2	15	2	13.3	8	2	25.0
中田町	77	26	33.8	47	15	31.9	24	6	25.0
豊里町	25	9	36.0	14	2	14.3	8	0	0.0
米山町	64	23	35.9	27	3	11.1	17	1	5.9
石越町	50	19	38.0	9	6	66.7	12	4	33.3
南方町	64	19	29.7	23	6	26.1	20	5	25.0
河北町	85	26	30.6	37	13	35.1	28	10	35.7
矢本町	107	28	26.2	50	12	24.0	29	9	31.0
雄勝町	55	11	20.0	13	2	15.4	11	4	36.4
河南町	102	19	18.6	27	7	25.9	24	7	29.2
桃生町	36	9	25.0	24	14	58.3	13	0	0.0
鳴瀬町	59	22	37.3	38	16	42.1	15	6	40.0
北上町	23	5	21.7	8	2	25.0	6	0	0.0
女川町	56	17	30.4	38	12	31.6	20	8	40.0
牡鹿町	31	7	22.6	22	15	68.2	17	6	35.3
志津川町	79	10	12.7	32	9	28.1	19	3	15.8
津山町	22	7	31.8	5	1	20.0	7	4	57.1
本吉町	62	9	14.5	33	7	21.2	16	4	25.0
唐桑町	35	3	8.6	17	4	23.5	15	1	6.7
歌津町	21	5	23.8	12	0	0.0	13	5	38.5

付表5 （続き）

	肺			女性乳房			子宮 1)		
	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%
宮城県（合計）	5,388	1,187	22.0	2,833	463	16.3	1,556	542	34.8
仙台市	1,808	279	15.4	1,206	186	15.4	644	256	39.8
青葉区	554	87	15.7	347	46	13.3	163	61	37.4
宮城野区	283	43	15.2	202	30	14.9	118	47	39.8
若林区	254	33	13.0	165	29	17.6	103	43	41.7
太白区	448	66	14.7	253	39	15.4	163	60	36.8
泉区	269	50	18.6	239	42	17.6	97	45	46.4
石巻市	314	76	24.2	178	33	18.5	115	54	47.0
塩釜市	179	22	12.3	90	15	16.7	47	17	36.2
古川市	143	32	22.4	68	13	19.1	40	13	32.5
気仙沼市	153	18	11.8	114	7	6.1	56	9	16.1
白石市	110	30	27.3	57	12	21.1	32	5	15.6
名取市	115	14	12.2	72	9	12.5	45	10	22.2
角田市	89	17	19.1	41	8	19.5	22	2	9.1
多賀城市	128	25	19.5	72	10	13.9	30	8	26.7
岩沼市	95	21	22.1	45	5	11.1	38	14	36.8
蔵王町	50	12	24.0	9	3	33.3	20	7	35.0
七ヶ宿町	10	6	60.0	1	1	100.0	0	0	0.0
大河原町	61	10	16.4	25	8	32.0	16	2	12.5
村田町	47	10	21.3	8	1	12.5	9	2	22.2
柴田町	79	20	25.3	63	7	11.1	37	8	21.6
川崎町	25	6	24.0	11	1	9.1	10	2	20.0
丸森町	76	20	26.3	13	1	7.7	13	1	7.7
亘理町	90	11	12.2	58	7	12.1	20	7	35.0
山元町	54	9	16.7	22	0	0.0	18	3	16.7
松島町	55	7	12.7	16	1	6.3	7	2	28.6
七ヶ浜町	46	10	21.7	28	3	10.7	15	4	26.7
利府町	41	13	31.7	33	6	18.2	5	2	40.0
大和町	53	11	20.8	13	5	38.5	6	1	16.7
大郷町	36	16	44.4	7	2	28.6	6	3	50.0
富谷町	39	16	41.0	36	8	22.2	14	4	28.6
大衡村	14	3	21.4	2	0	0.0	4	3	75.0
中新田町	43	12	27.9	16	1	6.3	9	3	33.3
小野田町	19	13	68.4	7	1	14.3	8	4	50.0
宮崎町	18	10	55.6	6	2	33.3	6	0	0.0
色麻町	34	11	32.4	7	0	0.0	1	0	0.0
松山町	22	6	27.3	9	3	33.3	6	4	66.7
三本木町	22	5	22.7	9	2	22.2	7	1	14.3
鹿島台町	25	5	20.0	21	3	14.3	4	0	0.0
岩出山町	39	5	12.8	18	3	16.7	6	1	16.7
鳴子町	34	10	29.4	8	3	37.5	6	1	16.7
涌谷町	62	13	21.0	19	4	21.1	6	4	66.7
田尻町	51	18	35.3	11	2	18.2	7	2	28.6
小牛田町	50	18	36.0	24	4	16.7	12	4	33.3
南郷町	22	7	31.8	11	4	36.4	7	2	28.6

1) 子宮頚部の上皮内癌を含む

付表5 （続き）

	肺			女性乳房			子宮 1)		
	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%	総数	検診発見数	%
築館町	47	15	31.9	16	5	31.3	9	3	33.3
若柳町	34	9	26.5	9	0	0.0	14	4	28.6
栗駒町	38	13	34.2	9	1	11.1	9	2	22.2
高清水町	11	2	18.2	3	0	0.0	1	0	0.0
一迫町	37	12	32.4	6	2	33.3	4	2	50.0
瀬峰町	26	5	19.2	7	2	28.6	2	1	50.0
鶯沢町	18	6	33.3	2	2	100.0	0	0	0.0
金成町	24	7	29.2	6	1	16.7	6	2	33.3
志波姫町	27	8	29.6	10	2	20.0	2	1	50.0
花山村	9	5	55.6	1	0	0.0	1	0	0.0
迫町	59	19	32.2	26	7	26.9	22	11	50.0
登米町	19	8	42.1	8	2	25.0	0	0	0.0
東和町	38	17	44.7	15	7	46.7	4	2	50.0
中田町	48	21	43.8	19	4	21.1	12	6	50.0
豊里町	19	3	15.8	5	0	0.0	4	1	25.0
米山町	33	11	33.3	6	3	50.0	7	3	42.9
石越町	26	9	34.6	5	0	0.0	1	1	100.0
南方町	27	12	44.4	12	0	0.0	6	4	66.7
河北町	33	17	51.5	23	6	26.1	10	6	60.0
矢本町	88	16	18.2	33	11	33.3	24	10	41.7
雄勝町	21	11	52.4	7	1	14.3	2	0	0.0
河南町	66	22	33.3	27	4	14.8	15	8	53.3
桃生町	26	10	38.5	10	1	10.0	6	2	33.3
鳴瀬町	44	13	29.5	16	2	12.5	6	1	16.7
北上町	19	8	42.1	5	1	20.0	1	0	0.0
女川町	47	15	31.9	21	4	19.0	8	3	37.5
牡鹿町	34	13	38.2	8	0	0.0	6	3	50.0
志津川町	38	14	36.8	23	4	17.4	8	1	12.5
津山町	13	7	53.8	4	2	50.0	1	0	0.0
本吉町	39	4	10.3	17	4	23.5	6	0	0.0
唐桑町	20	3	15.0	11	1	9.1	3	0	0.0
歌津町	9	5	55.6	9	0	0.0	2	0	0.0

宮城県新生物レジストリー委員会要綱

（設　置）
第1条　宮城県がん登録管理事業を実施するため、宮城県新生物レジストリー委員会（以下「委員会」という）を設置する。

（組　織）
第２条　委員会は、委員２０人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げるもののうちから財団法人宮城県対がん協会会長が委嘱又は任命する。
　一　学識経験を有する者
　二　県職員
３　委員会は会長及び副会長を置き、委員が互選する。

（任　期）
第３条　前条第２項第１号に掲げる者のうちから委嘱された委員の任期は２年とする。

（任務等）
第４条　会長は、会務を総理し委員会を代表する。
２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

（委　任）
第５条　この要綱の定めるものの他、委員会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附　　則

この要綱は、昭和 47 年 11 月 1 日から施行する。

附　則

この要綱は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

宮城県新生物レジストリー委員会規程

第１条　本規程は、宮城県がん登録管理事業実施要領（以下「要領」という）及び宮城県新生物レジストリー委員会要綱（以下「要綱」という）に基づき運営上必要な事項を定める。

第２条　宮城県新生物レジストリー委員会（以下「委員会」という）の副会長は２名とする。

第３条　委員会に実務委員会を置く。
実務委員会は、会長・副会長・実務委員で構成し委員会から委任を受けた事項につき審議し、執行するものとし、随時必要なとき開催する。

第４条　実務委員会に実務委員を若干名置く。
２　実務委員は、委員及び財団法人宮城県対がん協会職員の中から委嘱する。
３　実務委員長を置くものとする。
４　実務委員長は、財団法人宮城県対がん協会会長が任命する。

第５条　委員会に顧問を置くことができる。
２　顧問は、委員以外の者から財団法人宮城県対がん協会会長が委員会の承認を得て委嘱する。

第６条　委員会は毎年１回以上開催し、要領第２項の事項を審議する。

第７条　委員会の業務は、財団法人宮城県対がん協会において処理するものとする。

附　　則

この規程は、昭和 51 年７月 10 日から施行する。

附　　則

この規程は、平成３年５月１日から施行する。

宮城県新生物レジストリー委員会委員名簿

任期　平成13年4月1日から平成15年3月31日まで

［順不同］

1	会　長	安　田	恒　人	宮城県医師会長
2	副会長 実務委員長	久　道	茂	東北大学教授
3	副会長	山　田	洋治郎	宮城県保健福祉部長
4	委　員	栗　原	登	広島大学名誉教授
5	委　員	名　倉	宏	東北大学教授
6	委　員	岡　村	州　博	東北大学教授
7	委　員	高　野	昭	前仙台大学教授
8	委　員	下瀬川	徹	東北大学教授
9	委　員	大　井	康	宮城県医師会副会長
10	委　員	大　槻	昌　夫	東北大学教授
11	委　員 実務委員	柏　木	誠	宮城県保健福祉部次長
12	委　員 実務委員	庄　司	剛	宮城県健康対策課長
13	委　員 実務委員	辻	一　郎	東北大学助教授
14	委　員 実務委員	南	優　子	宮城県立がんセンター
15	委　員 実務委員	渋　谷	大　助	（財）宮城県対がん協会 がん検診センター所長
16	委　員 実務委員	坪　野	吉　孝	（財）宮城県対がん協会 がん登録室長（非常勤）
17	委　員 実務委員	植　竹	恒　夫	（財）宮城県対がん協会 事務局長
18	委　員 実務委員	西　野	善　一	東北大学助手

平成13年4月1日現在

宮城県新生物レジストリー資料利用許可申請書
研究計画書作成要領（改訂版）

1. A4 版横書き 2 枚程度にまとめて下さい。

2. 次の項目について記述して下さい。

（1）研究題目
（2）研究組織
（3）主任研究者氏名・所属・連絡先
（4）担当者氏名・所属・連絡先
（5）研究目的
（6）対象と方法
（7）必要とする宮城県新生物レジストリー資料
（8）研究期間
（9）研究成果の公表方法
⑽ 倫理上の配慮

（7）については、特に詳細に記述して下さい。
（9）については、学会・研究班報告、報告書、論文を含めて、予定している公表方法を具体的に記述して下さい。
⑽ については、個人情報の取り扱いには十分留意すること、及び、レジストリー資料で知り得た個人情報に基づき、患者や家族に直接接触することは、いかなる形でも行なわないこと（特に症例対照研究における症例や、検診の偽陰性について）を明記して下さい。

宮城県新生物レジストリー
資料利用許可申請書

宮城県新生物レジストリー委員会
委員長　　安　田　恒　人　　殿

　私共が計画している研究の実施にあたり、宮城県新生物レジストリーの資料の利用をご許可願いたく、研究計画書を添えて申請いたします。
　なお、資料の利用が許可された際には、個人情報の保護に十分留意し、許可された用途以外に使用しないことを誓約いたします。

平成　　年　　月　　日

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

所属＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

見本

宮城県新生物レジストリー調査票

登録番号	*	記入年月日	平成　　年　　月　　日
調査票番号	*	収集方法	* 1採録　2報告　3補充
ふりがな / 患者氏名		性別	1男　2女
医療機関名称（科名）		医師名	
生年月日	1明治　2大正　3昭和　4平成　　年　　月　　日	患者番号	
診療録番号			
住所	市・区　町・村		
診断名	*	組織所見	*
診断年月日	3昭和　4平成　　年　　月　　日	確診・疑	1確診　2疑
初発・再発	1初発　2再発　9不明		
診断契機	1集団検診　2健康診断　3剖検　4その他（　　）　9不明		
診断根拠	剖検　1あり　2なし　9不明		
	組織診　1あり　2なし　9不明		
	細胞診　1あり　2なし　9不明		
臨床進行度	1上皮内　2当該臓器に限局　3所属リンパ節転移　4隣接臓器浸潤　5遠隔転移　9不明	深達度・病期	
手術	1病巣切除あり　2病巣切除なし　3病巣切除不明　4なし　9不明	手術年月日	3昭和　4平成　　年　　月　　日
手術施設名	当院・他院・不明	最終診療年月日	3昭和　4平成　　年　　月　　日
死亡年月日	3昭和　4平成　　年　　月　　日		

その他参考となる事項（患者の紹介元・紹介先・病状・検査・治療等で、参考となる事項がありましたらご記入下さい）

診断根拠：Xp・CT・MRI・Echo・内視鏡・他（　　　　）
治　　療：放・化・免・レーザー・TAE・他（　　　　）
紹介元：
紹介先：
入院期間：

死　　因：
死亡場所：当院・不明
　　　　　他院（　　　　）

調　査　票　の　記　載　方　法

平成１１年４月　（第２版）

Ⅰ　届出対象

宮城県内に住所を有し、悪性新生物（脳腫瘍については良性腫瘍を含む　以下同様）と診断した患者又は疑いの患者を対象とします。

原則として初発時の資料をご報告頂きたく存じますが、履歴を把握するため転移・再発・死亡時にもご報告頂きますようお願いいたします。

Ⅱ　届出時期

新　　規

①貴院において診断し、記載する情報が揃ったとき
②貴院において悪性新生物と診断された患者、又は疑いの患者が他院に転院したとき
③他院において悪性新生物と診断された患者、又は疑いの患者が治療のため貴院に転院してきたとき

変更・追加　以前に貴院からいただいた届出症例の内容を変更・追加するとき

①診断を変更したとき
　ｉ　悪性新生物であるとして届出をしたが、診断を悪性新生物ではないと変更したとき
　ii　原発部位・組織所見の診断を変更したとき
　iii　手術を行わない予定であったが、手術を行ったとき
②前回届出時と原発部位もしくは組織所見が異なった悪性新生物を診断したとき（重複がん）
③届出をした悪性新生物に転移・再発があったとき
④悪性新生物と診断されていた患者が死亡したとき

個人同定に必要ですので、下記の個所を必ず記載して下さい。
・記入年月日　・患者氏名　・性別　・医療機関名称　・生年月日
・患者番号　・診療録番号　・住所　・診断名　・診断年月日
・［その他の参考となる事項］の欄に“変更”及び“追加”と記載

Ⅲ　記載方法　＊以外の個所について記載をお願いします。

1　記入年月日　記載していただいた年月日でお願いします。

2　患者氏名　ふりがなを必ずつけて下さい。

3　性　別　男女のどちらかに○をつけて下さい。

4　医療機関名称　ゴム印等で結構ですので、必ず記載をお願いします。

5　生年月日　必ず元号に○をつけて下さい。

（2～5）**がん登録室でのデータ整理上、必須です。記載漏れのないようお願いします。**

6　患者番号　貴院で使用している番号を記載して下さい。
がん登録室から届出患者について問い合わせする場合、この番号を使用します。

7　診療録番号　患者番号以外に番号がある場合（例　入院カルテ番号　等）のみ、記載をお願いします。

8　住　所　現住所の記載をお願いします。県外在住の患者についてのご報告は不要です。
但し、単身赴任等で住所が２つ以上ある場合（県外を含む）は、その旨を［その他参考となる事項］の欄に記載して下さい。
（例　実家：東京都中央区築地５－１－１（単身赴任中）等）
がん登録室でのデータ整理上、必須です。記載漏れのないようお願いします。

9　診　断　名

がん登録室でのデータ整理上、必須です。記載漏れのないようお願いします。

①悪性新生物の原発部位を記載して下さい。部位については別紙を参考に、また両側に存在する臓器については右・左・両側等、出来るだけ詳しくお願いします。

②原発部位が２つ以上あった場合（重複がん）はそれぞれ別用紙に記載して下さい（診療内容が全く同じ場合でも、それぞれの部位について記載して下さい）。その旨を［その他参考となる事項］の欄に記載して下さい。

（例　胃癌と急性骨髄性白血病の場合
胃癌の調査票〔その他参考となる事項〕の欄：重複がん（急性骨髄性白血病）
急性骨髄性白血病の調査票〔その他参考となる事項〕の欄：重複がん（胃癌）　等）

③続発性の病名のみ明確な場合（原発不明時）はその旨を明記して下さい。

（例　転移性肺癌（原発不明）　等）

④白血病・悪性リンパ腫については別紙を参考にして下さい。

⑤記載は略語を使用しないで下さい。

10　組 織 所 見

①判る限り組織診（又は細胞診）の結果を詳しく（修飾型・分化度・由来など）記載して下さい。

②生検標本と手術標本の結果が異なっていた場合、手術標本の結果を記載して下さい。

③貴院で検査を行わなかった場合は、他院で実施された検査結果を判る範囲で記載して下さい。

④組織不明時はその旨を記載して下さい。

⑤同一部位で複数の組織型が存在していた場合には、1用紙に全ての組織型を記入して下さい。こちらで、重複がんか否かを判断致します。

11　診 断 年 月 日

患者の罹患年を決定するために必須です。記載漏れのないようにお願いします。

入院した場合

次のうち時間的に最も早い日を診断年月日と定めて下さい。

①入院日（悪性新生物検査・治療のため、初めて入院した日）

②手術日（手術によって初めて悪性新生物と判明した場合には初診日及び入院日はとらず、手術日を優先とします）

③外来でのがんの診断の契機となった検査等を行った年月日（入院以前の外来 follow が長期の場合）

④転院してきた場合、紹介元での上記①～③にあてはまる年月日（明確な場合）

外来のみの場合

がんの診断の契機となった検査等を行った年月日

12　確 診 ・ 疑　　悪性（脳腫瘍については良性も含む　以下同様）について確診・疑に○をつけて下さい。
原発部位が不明でも、悪性であることが確定している場合は確診として下さい。

13　初 発 ・ 再 発　　診断名が続発性のものであった場合（原発不明時）、“ 再発 ” として下さい。
診断名が原発性か続発性か不明であった場合、“ 不明 ” として下さい。

14　診 断 契 機

①集団検診　　市町村及び職場で実施するがん検診
・症状は以前からあったが、放置。その後、検診受診にて発見された場合
・今年の検診にてポリープと診断。Follow 中、悪性新生物と診断された場合

②健康診断　　人間ドック、健康診断、市町村及び職場で実施する健診（がん検診以外）

③剖　　検　　生前、悪性新生物を指摘されず、剖検で初めて判明したもの

④そ の 他　　①～③以外の診断契機について（　）内に具体的に記載して下さい
（例　“ 腹痛 ”“ 体重減少 ” などの具体的自覚症状、“ 他院からの紹介 ”“ 他疾病の検査で判明 ” 等）
・検診にて発見されたが放置、その後症状がでて来院した場合
・前年以前の検診にてポリープと診断。Follow 中、悪性新生物と診断された場合

⑤不　　明

15　診 断 根 拠

①剖　検　　剖検を行った場合には全て、“ あり ” に〇をつけて下さい。

②組織診
③細胞診　　結果が陰性であっても、悪性新生物の診断のため実施した場合には “ あり ” に〇をつけて下さい。

また、上記以外で診断した場合、その旨を［その他参考となる事項］の “ 診断根拠 ” 欄に〇または（　）内に実施検査を記載して下さい。

・白血病の場合　　骨髄穿刺施行時には “ 組織診 ” に〇をつけて下さい。
血液一般検査実施時には “ 細胞診 ” に〇をつけて下さい。

16　臨 床 進 行 度

手術実施時：手術所見と病理診断より記載して下さい。
そ　の　他：診断日より２ヶ月以内の全検査結果より判断できる限り、記載して下さい。但し、癌治療施行（放・化・免疫など）以前の結果に限ります。

①上　皮　内　　（in situ）がん病巣が上皮内にあり、これを超えていないとき
②当該臓器に限局　　原発臓器又は組織内に癌が限局しているとき
③所属リンパ節転移　　原発臓器の所属リンパ節に転移があり、それ以上拡がっていないとき
④隣接臓器浸潤　　所属リンパ節転移の有無にかかわらず、隣接臓器又は組織にがんが連続的に拡がっているとき
⑤遠　隔　転　移
　ⅰ　遠隔リンパ節へのリンパ節転移があるとき
　ⅱ　遠隔臓器（肺、肝臓、脳など）への血行性転移があるとき
　ⅲ　播種転移（癌性腹膜炎、癌性胸膜炎など）のあるとき
　ⅳ　白血病、ホジキン病、悪性リンパ腫（消化器原発以外）、多発性骨髄腫など全身性の癌の場合はこの項に入れて下さい。

・当てはまるものが２つ以上あった場合、番号の大きいものに〇をつけて下さい。
・胃のmがんは “ １　上皮内 ” には入れず、“ ２　当該臓器に限局 ” に入れて下さい。
・大腸のmがんは “ １　上皮内 ” に入れて下さい。

17　深達度・病期　　ＴNM分類、ステージ、早期進行の別等、判る範囲で記載して下さい。
胃・大腸の場合は深達度を、深達度不明時は早期・進行の別を記載して下さい。

18　手　　術　　他院で施行された手術（がん治療のため）であっても、判る範囲で記載をお願いします。

①病巣切除あり　　原発巣を切除した場合
　ⅰ　治癒切除　　腫瘍を完全に摘除しえたとき（相対、絶対）
　ⅱ　非治癒切除　　不完全切除に終わったとき

・<u>内視鏡的摘除術</u>について
現行では、胃がんや大腸がんなどに対して行う内視鏡的摘除術は手術に含めます。

②病巣切除なし　　腫瘍切除よりも、症状改善または症状把握を目的とした手術の場合
この場合は、“ 手術年月日 ” の空欄に術名を記入して下さい。
　ⅰ　吻合など　　症状改善のために行われたとき
原発巣の切除は行わず、転移巣のみ切除したとき
　ⅱ　単開など　　試験開腹など
③病巣切除不明　　悪性新生物に対しての手術は行ったが、病巣切除したかどうか不明の場合
④な　　し　　悪性新生物に対しての手術を行わなかった場合
（例　胆管結石除去術　等）
⑤不　　明　　悪性新生物に対しての手術を行ったか不明の場合

・当てはまるものが２つ以上あった場合、番号の小さいものを優先して下さい。

19　手術年月日　　悪性新生物に対して複数回の手術を行った場合、全て記入して下さい。その場合、術名も記載してください。記載する欄が足りない場合には［その他参考となる事項］に記載しても構いません。

20　手 術 施 設 名　　手術施行病院が、当院または不明の場合は［手術施設名］欄の該当箇所に○を、病院名が明確な場合には［他院］に○をつけ、病院名を記載して下さい。

21　最 終 診 療 日　　記載時点の貴院での最終来院日を記載して下さい。

22　死 亡 年 月 日　　患者が死亡した場合、記載して下さい。その際、死因が明確な場合には［その他参考となる事項］の " 死因 " の欄に記載して下さい。

23　その他参考となる事項

この項目は参考のためですので、記載は必須ではありません。

診断根拠：［剖検・組織診・細胞診］以外の検査から診断された場合は記載して下さい。［剖検・組織診・細胞診］を施行している場合、記載は不要です。

治　　療・紹 介 元・紹 介 先・入院期間・死　　因・死亡場所等

上記以外、参考となる事項がありましたら記載して下さい。

不明な点につきましては、(財) 宮城県対がん協会　がん登録室 までお問い合わせ下さい。

〒980-0011　仙台市青葉区上杉５丁目７番３０号
(財) 宮城県対がん協会内　が ん 登 録 室
（０２２）２６３－１６０２（直通）
担　当　　小定・佐々木

部 位 一 覧 表 に つ い て

この部位一覧表は、WHOより出版された腫瘍専門分類である“国際疾病分類－腫瘍学（ＩＣＤ－Ｏ）　第２版”の中の局在コードに基づき、作成しております。

調査票の診断名の欄にはこの表を参考に悪性腫瘍の原発部位を記入して下さい。

―注意事項―

１　ＮＯＳ(Not　Otherwise　Specified)：他に何らの説明がないもの（詳細不明）
２　**境界部病巣**：大分類部位内での境界部病巣です。
（例　胃前庭部と胃体部にまたがっている場合など）
３　白血病の場合
診断名：下記の表を参考に記入して下さい。（“白血病”はＩＣＤ－Ｏでは“骨髄”に分類されているので、〈部位一覧表〉には記載されていません）
組織名：Ｔ細胞・Ｂ細胞由来である情報を記入して下さい。不明時はその旨を記入して下さい。

白　血　病

Leukemia, NOS	Basophilic leukemia
Acute leukemia, NOS	Eosinophilic leukemia
Subacute leukemia, NOS	Monocytic leukemia, NOS
Chronic leukemia, NOS	Acute monocytic leukemia
Aleukemic leukemia, NOS	Subacute monocytic leukemia
Lymphoid leukemia, NOS	Chronic monocytic leukemia
Acute lymphoblastic leukemia, NOS	Aleukemic monocytic leukemia
Subacute lymphoid leukemia	Mast cell leukemia
Chronic lymphocytic leukemia	Acute megakaryoblastic leukemia
Aleukemic lymphoid leukemia	Myeloid sarcoma
Prolymphocytic leukemia	Acute panmyelosis
Burkitt's cell leukemia	Acute myelofibrosis
Adult T-cell leukemia/lymphoma	Hairy cell leukemia
Plasma cell leukemia	Leukemic reticuloendotheliosis
Erythroleukemia	Polycythemia vera
Acute erythremia	Chronic myeloproliferative disease
Chronic erythremia	Myelosclerosis with myeloid metaplasia
Lymphosarcoma cell leukemia	Idiopathic thrombocythemia
Myeloid leukemia, NOS	Lymphoproliferative disease, NOS
Acute myeloid leukemia	Refractory anemia, NOS
Subacute myeloid leukemia	Refractory anemia without sideroblasts
Chronic myeloid leukemia	Refractory anemia with sideroblasts
Aleukemic myeloid leukemia	Refractory anemia with excess of blasts
Acute promyelocytic leukemia	Refractory anemia with excess of blasts with transformation
Acute myelomonocytic leukemia	Myelodysplastic syndrome, NOS
Chronic myelomonocytic leukemia	

４　**悪性リンパ腫の場合**　　　診断名：悪性リンパ腫であることを明記の上、原発部位（リンパ節・臓器名）を記入して下さい。
組織名：下記の表を参考に記入して下さい。

悪性リンパ腫（組織型）

ML (Malignant lymphoma), NOS	ML, mixed small cleaved and large cell, follicular
ML, non-hodgkin's, NOS	ML, centroblastic-centrocytic, follicular
Lymphosarcoma, NOS	ML, lymphocytic, well differentiated, nodular
Reticulosarcoma, NOS	ML, lymphocytic, intermediate differentiation, nodular
Microglioma	ML, small cleaved cell, follicular
ML, diffuse, NOS	ML, lymphocytic, poorly differentiated, nodular
Hodgkin's disease, NOS	ML, centroblastic, follicular
Hodgkin's disease, mixed cellularity, NOS	ML, large cell, follicular, NOS
Hodgkin's disease, lymphocytic depletion, NOS	Mycosis fungoides
Hodgkin's disease, lymphocytic depletion, diffuse fibrosis	Sezary's disease
Hodgkin's disease, lymphocytic depletion, reticular	Peripheral T-cell lymphoma, NOS
Hodgkin's disease, lymphocytic predominance, NOS	T-zone lymphoma
Hodgkin's disease, lymphocytic predominance, diffuse	Lymphoepithelioid lymphoma
Hodgkin's disease, lymphocytic predominance, nodular	Peripheral T-cell lymphoma, AILD
Hodgkin's paragranuloma, NOS	Peripheral T-cell lymphoma, pleomorphic small cell
Hodgkin's granuloma	Peripheral T-cell lymphoma, pleomorphic medium and large cell
Hodgkin's sarcoma	Cutaneous lymphoma
Hodgkin's disease, nodular sclerosis, NOS	Monocytoid B-cell lymphoma
Hodgkin's disease, nodular sclerosis, cellular phase	Angioendotheliomatosis
Hodgkin's disease, nodularsclerosis lymphocytic predominance	Angiocentric T-cell lymphoma
Hodgkin's disease, nodular sclerosis mixed cellularity	Large cell (ki-1+) lymphoma
Hodgkin's disease, nodular sclerosis lymphocytic depletion	Malignant histiocytosis
ML, small lymphocytic, NOS	Letterer-Siwe's disease
ML, lymphoplasmacytic	True histiocytic lymphoma
ML, small cleaved cell, diffuse	Plasma cell tumor, benign
ML, lymphocytic, intermediate differentiation, diffuse	Plasmacytoma, NOS
ML, centrocytic	Multiple myeloma
ML, mixed small and large cell, diffuse	Mastocytoma, NOS
ML, centroblastic-centrocytic, diffuse	Mast cell sarcoma
Malignant lymphomatous polyposis	Malignant mastocytosis
ML, large cell, diffuse, NOS	Immunoproliferative disease, NOS
ML, large cell, cleaved, diffuse	Waldenstrom's macroglobulinemia
ML, large cell, noncleaved, diffuse	Alpha heavy chain disease
ML, centroblastic, diffuse	Gamma heavy chain disease
ML, immunoblastic, NOS	Immunoproliferative small intestinal disease
ML, lymphoblastic	Monoclonal gammopathy
ML, small cell, noncleaved, diffuse	Angiocentric immunoproliferative lesion
Burkitt's lymphoma, NOS	Angioimmunoblastic lymphadenopathy
ML, follicular, NOS	T-gamma lymphoproliferative disease

部 位　一 覧 表

大分類部位		部位
口唇・口腔・咽頭	口唇	外〈側〉上唇
		外〈側〉下唇
		外〈側〉口唇NOS
		上唇粘膜
		下唇粘膜
		口唇粘膜NOS
		唇交連
		口唇の境界部病巣
		口唇NOS
	舌根〈基底〉部	舌根<基底>部NOS
	その他及び部位不明の舌	舌背面NOS
		舌縁
		舌下面NOS
		舌の前3分の2NOS
		舌扁桃
		舌の境界部病巣
		舌NOS
	歯肉	上顎歯肉
		下顎歯肉
		歯肉NOS
	口腔底	前部口腔底
		側部口腔底
		口腔底の境界部病巣
		口腔底NOS
	口蓋	硬口蓋
		軟口蓋NOS
		口蓋垂
		口蓋の境界部病巣
		口蓋NOS
	その他及び部位不明の口腔	頬粘膜
		口腔前庭
		臼後部
		その他および部位不明の口腔の境界部病巣
		口腔NOS
	耳下腺	耳下腺
	その他及び詳細不明の大唾液腺	顎下腺
		舌下腺
		大唾液腺の境界部病巣
		大唾液腺NOS
	扁桃	扁桃窩
		扁桃口蓋弓
		扁桃の境界部病巣
		扁桃NOS
	中咽頭	喉頭蓋谷
		喉頭蓋の前面
		中咽頭側壁
		中咽頭後壁
		鰓裂〈さくれつ〉
		中咽頭の境界部病巣
		中咽頭NOS
	鼻〈上〉咽頭	鼻<上>咽頭上壁
		鼻＜上＞咽頭後壁
		鼻＜上＞咽頭側壁
		鼻＜上＞咽頭前壁
		鼻＜上＞咽頭の境界部病巣
		鼻＜上＞咽頭NOS
	梨状陥凹〈洞〉	梨状陥凹＜洞＞
	下咽頭	後輪状軟骨部

大分類部位		部位
口唇・口腔・咽頭	下咽頭	披裂喉頭蓋ひだの下咽頭面
		下咽頭後壁
		下咽頭の境界部病巣
		下咽頭NOS
	その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭	咽頭NOS
		喉頭咽頭
		ワルダイヤー環＜輪＞
		口唇、口腔および咽頭の境界部病巣
消化器	食道	頚部食道
		胸部食道
		腹部食道
		上部食道
		中部食道
		下部食道
		食道の境界部病巣
		食道NOS
	胃	噴門NOS
		胃底部
		胃体部
		胃前庭部
		幽門
		胃小弯NOS
		胃大弯NOS
		胃の境界部病巣
		胃NOS
	小腸	十二指腸
		空腸
		回腸
		メッケル憩室
		小腸の境界部病巣
		小腸NOS
	結腸	盲腸
		虫垂
		上行結腸
		右結腸曲<肝弯曲>
		横行結腸
		左結腸曲＜脾弯曲＞
		下行結腸
		S状結腸
		結腸の境界部病巣
		結腸NOS
	直腸S状結腸移行部	直腸S状結腸移行部
	直腸	直腸NOS
	肛門及び肛門管	肛門NOS
		肛門管
		総排泄腔由来部
		直腸、肛門及び肛門管の境界部病巣
	肝及び肝内胆管	肝
		肝内胆管
	胆嚢	胆嚢
	その他及び部位不明の胆道	肝外胆管
		ファーテル乳頭膨大部
		胆道の境界部病巣
		胆道NOS
	膵	膵頭部
		膵体部
		膵尾部
		膵管
		ランゲルハンス島
		膵のその他の明示された部位
		膵の境界部病巣
		膵NOS

大分類部位		部位
消化器	その他及び部位不明確の消化器	腸管NOS
		消化器系の境界部病巣
		胃腸管NOS
呼吸器･胸腔内臓器	鼻腔及び中耳	鼻腔
		中耳
	副鼻腔	上顎洞
		篩骨洞<蜂巣>
		前頭洞
		蝶形骨洞
		副鼻腔の境界部病巣
		副鼻腔NOS
	喉頭	声門
		声門上部
		声門下部
		喉頭軟骨
		喉頭の境界部病巣
		喉頭NOS
	気管	気管
	気管支及び肺	主気管支
		上葉、肺
		中葉、肺
		下葉、肺
		肺の境界部病巣
		肺NOS
	胸腺	胸腺
	心臓、縦隔及び胸膜	心臓
		前縦隔
		後縦隔
		縦隔NOS
		胸膜NOS
		心臓、縦隔及び胸膜の境界部病巣
	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器	上気道NOS
		呼吸器系及び胸腔内臓器の境界部病巣
		部位不明確の呼吸器系
骨･関節･関節軟骨	(四)肢の骨、関節及び関節軟骨	上肢の長骨、肩甲骨及びその関節
		上肢の短骨、およびその関節
		下肢の長骨及びその関節
		下肢の短骨及びその関節
		(四)肢の骨、関節及び関節軟骨の境界部病巣
		(四)肢の骨NOS
	その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	頭蓋骨、顔面骨及びその関節(下顎を除く)
		下顎
		脊柱(仙骨及び尾骨を除く)
		肋骨、胸骨、鎖骨及びその関節
		骨盤骨、仙骨、尾骨及びその関節
		骨、関節及び関節軟骨の境界部病巣
		骨NOS
造血系及び細網内皮系	造血系及び細網内皮系	血液
		骨髄
		脾
		細網内皮系NOS
		造血系NOS
皮膚(外陰部、陰茎、陰嚢の皮膚を除く)	皮膚(外陰部、陰茎、陰嚢の皮膚を除く)	口唇の皮膚NOS
		眼瞼
		外耳
		その他及び部位不明の顔面の皮膚
		頭皮及び頚の皮膚
		体幹の皮膚
		上肢及び肩の皮膚
		下肢及び股関節部の皮膚
		皮膚の境界部病巣
		皮膚NOS

大分類部位		部位
末梢神経及び自律神経系	末梢神経及び自律神経系	頭部、顔面及び頚部の末梢神経及び自律神経系
		上肢及び肩の末梢神経及び自律神経系
		下肢及び股関節部の末梢神経及び自律神経系
		胸部〈郭〉の末梢神経及び自律神経系
		腹部の末梢神経及び自律神経系
		骨盤の末梢神経及び自律神経系
		体幹の末梢神経及び自律神経系NOS
		末梢神経及び自律神経系の境界部病巣
		自律神経系NOS
後腹膜及び腹膜	後腹膜及び腹膜	後腹膜
		腹膜の明示された部位
		腹膜NOS
		後腹膜及び腹膜の境界部病巣
結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	頭部、顔面及び頚部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（眼窩の結合組織及び鼻軟骨を除く）
		上肢及び肩の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織
		下肢及び股関節部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織
		胸部〈郭〉の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織（胸腺、心臓及び縦隔を除く）
		腹部の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織
		骨盤の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織
		体幹の結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織N
		結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織の境界部病巣
		結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織NOS
乳房（乳房の皮膚を除く）	乳房（乳房の皮膚を除く）	乳頭
		乳房中央部
		乳房上内側4分の1
		乳房下内側4分の1
		乳房上外側4分の1
		乳房下外側4分の1
		乳腺腋窩尾部
		乳房の境界部病巣
		乳房NOS
女性性器	外陰	大陰唇
		小陰唇
		陰核
		外陰の境界部病巣
		外陰NOS
	膣	膣NOS
	子宮頚（部）	子宮頚内膜
		子宮頚外部
		子宮頚（部）の境界部病巣
		子宮頚（部）
	子宮体部	子宮峡部
		子宮内膜
		子宮筋層
		子宮底
		子宮体部の境界部病巣
		子宮体部
	子宮NOS	子宮NOS
	卵巣	卵巣
	その他及び部位不明の女性性器	卵管
		子宮広間膜〈靭帯〉
		子宮円索〈靭帯〉
		子宮傍（結合）組織
		子宮付属器
		その他の明示された女性性器
		女性性器の境界部病巣
		女性性器NOS

大分類部位		部位
女性性器	胎盤	胎盤
男性性器	陰茎	包皮
		亀頭
		陰茎体部
		陰茎の境界部病巣
		陰茎NOS
	前立腺	前立腺
	精巣〈睾丸〉	停留精巣〈睾丸〉
		下降精巣〈睾丸〉
		精巣〈睾丸〉NOS
	その他及び部位不明の男性性器	精巣上体〈副睾丸〉
		精索
		陰嚢NOS
		その他の明示された男性性器
		男性性器の境界部病巣
		男性性器NOS
尿路	腎	腎NOS
	腎盂	腎盂
	尿管	尿管
	膀胱	膀胱三角
		膀胱円蓋
		膀胱側壁
		膀胱前壁
		膀胱後壁
		膀胱頚部
		尿管口
		尿膜管
		膀胱の境界部病巣
		膀胱NOS
	その他及び部位不明の泌尿器	尿道
		尿道傍腺
		泌尿器の境界部病巣
		尿路系NOS
眼･脳･その他の中枢神経	眼及び付属器	結膜
		角膜NOS
		網膜
		脈絡膜
		毛様体
		涙腺
		眼窩NOS
		眼及び付属器の境界部病巣
		眼NOS
	髄膜	脳髄膜
		脊髄膜
		髄膜NOS
	脳	大脳
		前頭葉
		側頭葉
		頭頂葉
		後頭葉
		脳室NOS
		小脳NOS
		脳幹
		脳の境界部病巣
		脳NOS
	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系	脊髄
		馬尾
		嗅神経
		視神経
		聴神経
		脳神経NOS
		脳及び中枢神経系の境界部病巣

大分類部位		部位
眼･脳･その他の中枢神経	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系	神経系NOS
甲状腺･その他の内分泌腺	甲状腺	甲状腺
	副腎	副腎皮質
		副腎髄質
		副腎NOS
	その他の内分泌腺及び関連組織	上皮小体〈副甲状腺〉
		下垂体
		頭蓋咽頭管
		松果体
		頸動脈小体
		大動脈小体及びその他のパラガングリア〈傍神経節〉
		内分泌腺及び関連組織の境界部病巣
		内分泌腺NOS
その他及び不明確な部位	その他及び不明確な部位	頭部･顔部･頸部NOS
		胸部〈郭〉NOS
		腹部NOS
		骨盤NOS
		上肢NOS
		下肢NOS
		その他の不明確な部位
		部位不明確の境界部病巣
リンパ節	リンパ節	頭部、顔面または頸部リンパ節
		胸腔内リンパ節
		腹腔内リンパ節
		腋窩または腕のリンパ節
		下肢または鼡径部のリンパ節
		骨盤リンパ節
		多部位のリンパ節
		リンパ節NOS

宮 城 県 の が ん

1 9 9 3 - 1 9 9 7

2001年 9 月発行

編集　宮　　　　城　　　　県
　　　（財）宮 城 県 対 が ん 協 会
　　　宮城県新生物レジストリー委員会
　　　〒980-0011　仙台市青葉区上杉 5 丁目 7－30
　　　（財）宮城県対がん協会がん登録室
　　　　ＴＥＬ 022-263-1602（直通）
　　　　ＦＡＸ 022-262-3775